

NeoFace Monitor クラウド版

運用管理マニュアル

2024 年 2 月

日本電気株式会社

ご注意

- ・ NeoFace および NeoFace Monitor は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。
 - ・ Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
 - ・ 本書は日本電気株式会社の著作物です。著作権法により、お客様が個人で使用する以外の目的で、日本電気株式会社の許可なしに本書の一部または全部を複製することは禁じられています。
 - ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
 - ・ 本書に掲載されている画像イメージなどは実際のものとは異なる場合があります。
 - ・ 本書に記載されているシステム名、製品名は開発メーカーの商標または登録商標です。なお、TM、®マークは明記しておりません。
-

目次

1. はじめに.....	1
1.1. 本書の構成.....	2
1.2. 注意事項.....	3
2. 管理者機能について.....	5
2.1. NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義.....	5
2.2. システム管理者、グループ管理者、一般ユーザーの設定.....	6
2.3. 操作可能な管理機能.....	7
2.4. 管理メニューの機能内容.....	8
2.5. 画面構成と名称について.....	9
2.5.1. 管理ポータルへの接続に必要な情報.....	9
2.5.2. 管理ポータルのログイン画面.....	10
2.5.3. 画面構成と名称.....	11
3. ユーザ管理.....	12
3.1. NFM 利用者と Windows アカウントの紐付け.....	12
3.2. グループ管理.....	13
3.2.1. 管理範囲.....	13
3.2.2. グループ間異動について.....	14
4. NFM 運用開始フロー.....	16
4.1. 無償利用申し込み.....	17
4.2. テナント開設完了メール受信.....	19
4.3. 初期パスワード変更.....	21
4.4. NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード.....	22
4.5. システム設定.....	23
4.6. NFM クライアントソフトのインストール.....	24
4.7. NFM 利用者の登録.....	25
4.7.1. NFM 利用者の新規登録.....	26
4.7.2. NFM 利用者の設定項目入力値チェック.....	30
4.8. NFM 利用者（一般ユーザー）の利用準備.....	34

4.9. パスワード再発行	35
4.10. ライセンスの購入・登録	36
4.10.1. 料金シミュレーション、ライセンスキーの購入	37
4.10.2. ライセンスキーの登録	38
4.11. 無償利用期間の終了日のお知らせ	39
4.12. 無償利用期間終了のお知らせ	40
5. NFM 利用者情報の一括登録	41
5.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）の作成	43
5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備	47
5.3. NFM 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル作成	47
5.4. NFM 利用者一括登録の実行	48
5.4.1. CSV ファイルを使用して実行する場合	48
5.4.2. ZIP ファイルを使用して実行する場合	50
5.4.3. NFM 利用者一括登録エラーメッセージ一覧	52
6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除	57
6.1. NFM 利用者一覧の表示	57
6.1.1. NFM 利用者の検索条件	58
6.1.2. NFM 利用者の一覧項目	60
6.2. NFM 利用者情報の変更	63
6.3. NFM 利用者情報の削除	64
6.4. アプリログイン代行認証	65
6.4.1. アプリログイン代行認証の新規登録	66
6.4.2. アプリログイン代行認証の変更	67
6.4.3. アプリログイン代行認証の削除	68
6.4.4. アプリログイン代行認証一覧の出力	69
6.4.5. アプリログイン代行認証一覧の反映	71
6.4.6. アプリログイン代行認証一括登録エラーメッセージ一覧	73
6.5. グループ管理	75
6.5.1. グループの選択	75
6.5.2. グループの新規登録	77

6.5.3.グループの保存.....	79
6.5.4.グループに関する設定の権限.....	80
7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力.....	81
7.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力.....	81
8. 認証ログの確認.....	84
8.1. 認証ログの検索.....	84
8.2. 認証ログの一覧表示.....	86
8.3. 認証ログの詳細表示.....	88
8.4. 認証エラーコード一覧.....	90
9. システム設定.....	92
9.1. Windows ログオン認証方式の設定.....	92
9.2. Windows ログオン認証ポリシーの設定.....	95
9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定.....	97
9.3. 常時認証ポリシーの設定.....	98
9.4. 顔画像ログ出力ポリシーの設定.....	100
9.5. AzureAD 設定の設定.....	101
10. ライセンスキー管理.....	103
10.1. ライセンスキー型番種別.....	103
10.2. ライセンスキー一覧.....	104
10.2.1. ライセンスキー一覧の項目.....	106
10.3. ライセンスキー入力（追加登録）.....	107
10.3.1. ライセンスキー入力（追加登録）項目.....	109
10.3.2. ライセンスキー入力（追加登録）の設定項目入力値チェック.....	110
10.3.3. ライセンス登録完了のお知らせ.....	111
10.4. ライセンスキー入力（延長登録）.....	112
10.4.1. ライセンスキー入力（延長登録）項目.....	113
10.4.2. ライセンスキー入力（延長登録）の設定項目入力値チェック.....	114
10.5. 利用可能 ID 数の超過による利用者の削除について.....	115
10.6. ライセンス利用期間の終了日のお知らせ.....	116
10.7. ライセンス利用期間終了のお知らせ.....	117

11.	テナント削除	118
11.1.	テナント削除のお知らせ	118
12.	外部システム連携	119
12.1.	外部システムとの連携機能	119
12.2.	連携機能のご利用にあたって	119
12.3.	個人情報の取り扱いについて	119
12.4.	連携の対象となる NFM 利用者を設定	120
12.5.	NeoFace Monitor クラウド版から外部システムへの連携	131
12.6.	外部システムから NeoFace Monitor クラウド版への連携	135
13.	接続許可 IP アドレス	137
13.1	接続許可 IP アドレスの表示	137
13.2	接続許可 IP アドレスの一覧項目	138
13.3	接続許可 IP アドレスの登録	139
13.4	接続許可 IP アドレスの新規登録	140
13.5	接続許可 IP アドレスの削除	143
14.	ワンタイムパスワードの利用	144
14.1	ワンタイムパスワード利用の流れ	144
14.2	ワンタイムパスワードの申請手順	145
14.3	ワンタイムパスワードの発行手順	145
14.4	ワンタイムパスワード利用手順	149
Appendix A.	ライセンスキーの登録	150

1. はじめに

本書では、NeoFace Monitor クラウド版の導入設定および運用管理の方法について説明しています。作業を始める前に、本書の「1.2. 注意事項」をご参照ください。

※以降「NeoFace Monitor」を「NFM」と表記している場合があります。

本書は、管理者ユーザーを対象としています。NFM 利用者のオペレーションについては『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』をご参照ください。

※NeoFace Monitor クラウド版 環境での運用方針やユーザーの操作への制限をするシステムポリシーの設定について詳しくは、「9.1. Windows ログオン認証方式の設定」をご参照ください。

本書では、以下の略称を使用しています。

- ・ NeoFace Monitor クラウド版 クライアント (64bit) : NFM クラウド版クライアント
- ・ NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル : 管理ポータル
- ・ NeoFace Monitor クラウド版 利用者 : NFM 利用者

1.1. 本書の構成

本書の構成について説明します。運用シーンに合わせてご参照ください。

運用場面	参照先
管理者機能の確認や、付与する管理権限を決定する。	第 2 章
ユーザー管理方法を決定する。	第 3 章
無償利用の申し込み、および NFM 利用者情報を登録する。	第 4 章
NFM 利用者情報を一括登録する。	第 5 章
NFM 利用者情報を修正・削除する。	第 6 章
NFM 利用者情報の一覧を出力する。	第 7 章
認証ログを確認する。	第 8 章
システム設定を変更する。	第 9 章
ライセンスキーの管理を行う。	第 10 章
外部システムとの連携を行う。	第 12 章

1.2. 注意事項

- 個人情報の取り扱い
NFM クラウド版クライアントの登録・照合・識別の各処理にて生成、利用される NFM 利用者データ (顔特徴抽出データ・ID を含む) には、個人情報が含まれています。それらデータの取り扱いに十分留意し、お客様の責任において適切なセキュリティ対策を施してください。
- 他の Windows ログオン製品との併用について
NFM クラウド版クライアントは Windows 以外のカスタマイズ Credential Provider (SKYSEA Client View、CyberLink YouCam、NEC Authentication Agent など) および他の生体認証製品との共存はサポートしておりません。そのため、他の Windows ログオン製品がインストールされている場合は、アンインストールしてから、NFM クラウド版クライアントのインストールを行うようお願いいたします。
- カメラを使用する他アプリケーションとの併用について
NFM クラウド版クライアントは Windows ログオンおよび画面ロック解除、常時認証機能の際にカメラを使用します。カメラを使用する他のアプリケーションと併用できませんのでご注意ください。
- OS 環境について
NFM クラウド版クライアントは x64 バージョンを用意しています。
- Windows パスワードの注意点
インストールする前に、Windows アカウントに Windows パスワードが設定されていることを必ず確認してください。Windows パスワードが未設定の場合、Windows ログオンできなくなります。
NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードが 64 文字以上の場合、インストールする前に 63 文字以下になるように Windows パスワードを変更してください。
- 管理ポータル上に登録する Windows パスワードについて
NeoFace Monitor クラウド版における Windows アカウントの新規追加時の Windows パスワード設定操作、および再設定操作では、Windows の登録内容と同じ Windows パスワードを設定してください。Windows と異なる値を設定した場合、Windows ログオンできなくなります。
- Windows パスワードの入力制限について
NFM クラウド版クライアントをご利用中のシステムでは、Windows パスワードに半角スペースを使用することができません。
- 画面表示のちらつきについて
Windows ログオン時、もしくは画面ロック解除時に、端末の種類によっては、Windows ログオンもしくは画面ロック解除画面の表示がちらつくことがありますが、動作に支障はありません。
- OS 起動時間について
本ソフトウェアをインストールすることによって、OS 起動時のログオン画面への遷移が遅くなる可能性があります。
- 対応するアカウントについて
本製品は Windows アカウント (ローカルアカウント・ドメインアカウント) または Azure AD アカウントに対応しています。上記以外のアカウントは対応していません。
- Microsoft アカウントの注意点
Windows 10、Windows 11 搭載端末へ NFM クラウド版クライアントをインストールする場合、対象端末に Microsoft アカウントしか存在していない場合にはインストールが正常完了せず、製品を利用することができません。
- タブレット端末の画面回転について
Windows タブレットの画面の自動回転へは対応しておりません。NFM クラウド版クライアントの画面は常に固定表示となります。(NEC 製タブレット PC のみ自動回転に対応しています)

- InfoCage PC セキュリティとの連携について
NECの統合型PCセキュリティソフトウェアであるInfoCage PCセキュリティとNFMクラウド版クライアントを連携させる場合は双方の動作環境、連携バージョンをご確認のうえ、インストールしてください。
- 顔の登録、認証について
NeoFace Monitor クラウド版では顔の登録、認証を行う際に両目が開いている必要があります。顔の登録、認証を行えない場合は、パスワードによる代替認証をご利用いただくことができます。
- NeoFace Monitor をインストールしたPCの使用を終了する場合について
NeoFace Monitor は認証情報を取り扱う製品のため、PCの廃棄や譲渡など、PCの使用を終了する場合は、必ずNeoFace Monitor をアンインストールしてください。

2. 管理者機能について

本製品は管理者向け機能として以下の機能およびツールを提供します。

2.1. NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義

管理者機能を使用するには、システム管理者権限またはグループ管理者権限が付与された NFM 利用者 ID（メールアドレス）で、管理ポータルにログインする必要があります。

以降の説明では、NeoFace Monitor クラウド版上での権限別に呼称を使い分けています。NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義は以下のとおりです。

NeoFace Monitor クラウド版 権限の呼称定義

権限の呼称	意味
システム管理者	NeoFace Monitor に対する全権限を有するユーザーを指します。管理ポータルのメニューをすべて実行可能です。
グループ管理者	利用者のグループを管理する権限を与えられたユーザーを指します。管理ポータルの利用者に関するメニューで自分の管理するグループに関する操作を実行可能です。
一般ユーザー	上記以外のユーザーを指します。

2.2. システム管理者、グループ管理者、一般ユーザーの設定

NFM 利用者をシステム管理者、グループ管理者、または一般ユーザーに設定することができます。

システム管理者、グループ管理者、一般ユーザーの設定

権限	設定
システム管理者	<p>導入初期のシステム管理者は無償利用申し込み時に指定した NFM 利用者 ID（メールアドレス）のユーザーです。</p> <p>ポータル画面からの「NFM 利用者登録」、「NFM 利用者情報の一括登録」、「NFM 利用者情報の変更」により、NFM 利用者をシステム管理者に設定することが可能です。</p> <p>既にシステム管理者に設定した NFM 利用者を一般ユーザーやグループ管理者へ変更することが可能です。ただし、システム管理者はテナント内に必ず 1 名必要です。</p>
グループ管理者	<p>ポータル画面からの「NFM 利用者登録」、「NFM 利用者情報の一括登録」、「NFM 利用者情報の変更」により、NFM 利用者をグループ管理者に設定することが可能です。</p> <p>既にグループ管理者に設定した NFM 利用者をシステム管理者や一般ユーザーへ変更することが可能です。</p>
一般ユーザー	<p>ポータル画面からの NFM 利用者登録、NFM 利用者情報の一括登録、NFM 利用者情報の変更により NFM 利用者をシステム管理者やグループ管理者に設定しなければ、一般ユーザーとして設定されます。</p> <p>既存の一般ユーザーに設定した NFM 利用者をシステム管理者やグループ管理者へ変更することが可能です。</p>

2.3. 操作可能な管理機能

権限の設定により、管理ポータルで操作可能な機能に制限があります。下記表のうち「×」表記となっているメニューは表示されません。

管理機能およびツールの実行権限

項番	管理機能およびツール	システム管理者	グループ管理者	一般ユーザー
1	パスワード変更	○	○	○
2	NFM クライアントダウンロード	○	○	○
3	ログアウト	○	○	○
4	NFM 利用者管理	○	○ ※1	×
5	ログビューア	○	○ ※1	×
6	設定	○	×	×
7	利用者情報連携管理	○	×	×
8	インポート/エクスポート	○	○ ※1	×
9	ライセンスキー管理	○	×	×
10	ワンタイムパスワード発行	○ ※2	×	×
11	接続許可 IP アドレス	○	×	×

※1 グループ管理者として設定されているグループに関する操作のみ可能です。

※2 「9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定」にて、代替認証の認証手段として「ワンタイムパスワード」を選択した場合に表示されます。

2.4. 管理メニューの機能内容

機能およびツール

機能		内容
パスワード変更		管理ポータルにログインするためのパスワードを設定します。
NFM クライアントソフト ダウンロード		NFM クライアントソフトをダウンロードします。
ログアウト		ログインした NFM 利用者での管理ポータルの利用を終了します。
NFM 利用者管理		NFM 利用者情報の登録/修正/削除、および Windows アカウントに関する設定を行います。
ログビューア		NFM クライアントによる顔認証の履歴を表示します。
設定	Windows ログオン認 証方式の設定	Windows ログオン時・Windows ロック解除時の認証方式の設定を行います。
	Windows ログオン認 証ポリシーの設定	Windows ログオン時・Windows ロック解除時の認証ポリ シーの設定を行います。
	常時認証ポリシー の設定	常時認証に関するポリシーの設定を行います。
	顔画像ログ出力ポ リシーの設定	Windows ログオン・Windows ロック解除時、常時認証時 のログ出力を設定します。
	AzureAD の設定	AzureAD に関する設定を行います。
利用者情報連携管理		外部システムとの NFM 利用者情報の連携に関する設定を 行います。
インポート/ エクスポート		NFM 利用者情報の一括登録や一覧ファイル出力を行いま す。
ライセンスキー管理		ライセンスキーの登録を行います。
ワンタイムパスワード発行		ワンタイムパスワードを発行します。※
接続許可 IP アドレス		システム管理者として管理ポータルに接続できる IP ア ドレスの設定を行います。

※「9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定」にて、代替認証の認証手段として「ワンタイムパスワード」を選択した場合に表示されます。

2.5. 画面構成と名称について

2.5.1. 管理ポータルへの接続に必要な情報

お使いの環境にてファイアウォールで送信先へのトラフィックの制限が行われている場合、下記のポート番号およびドメインに対する通信が許可されている必要があります。

ポート番号	443 (HTTPS)
ドメイン	*.neofacemonitor.com

2.5.2. 管理ポータルログイン画面

システム管理者が管理ポータルの機能を使用するときのログイン画面です。

NeoFace Monitor クラウド版 テナント開設完了のお知らせメールに記載されたパスワード変更後の URL にアクセスすると、管理ポータルのログイン画面が表示されます。NFM 利用者 ID（メールアドレス）とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押下してください。

管理ポータルのログイン画面

項目の説明

項目	内容
テナント	会社名を表示します。
NFM 利用者 ID (メールアドレス)	NFM 利用者として登録しているメールアドレスを入力します。
パスワード	パスワードを入力します。 ※5 回間違えると NFM 利用者 ID が 15 分間ロックされます。

2.5.3. 画面構成と名称

システム管理者が管理ポータルにログインすると以下のような画面が表示されます。画面の構成と各名称については以下のとおりです。



名称と説明

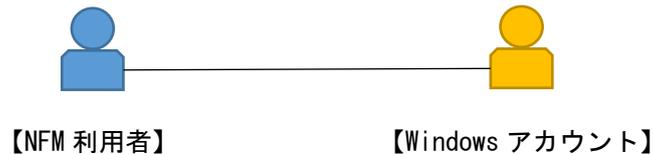
名称	説明
ヘッダエリア	会社名、ログインしたユーザーの氏名が表示されています。
メニューエリア	各機能のメニューが表示されています。
サブメニューボタン	押下するとサブメニューエリアが表示されます。
サブメニューエリア	利用頻度の低い機能のメニューが表示されています。
業務画面エリア	各機能の操作や内容が表示されています。

3. ユーザ管理

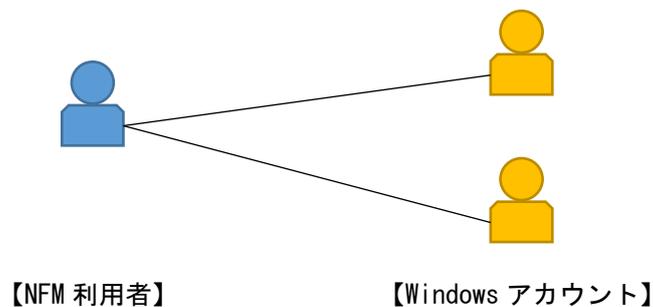
3.1. NFM 利用者と Windows アカountの紐付け

本製品は、Windows アカount毎ではなく、NFM 利用者毎に認証情報を保持します。NFM 利用者 と Windows アカountを紐付けることで、以下のような運用を可能とします。

- ① 1 人の NFM 利用者が 1 つの Windows アカountを利用する運用

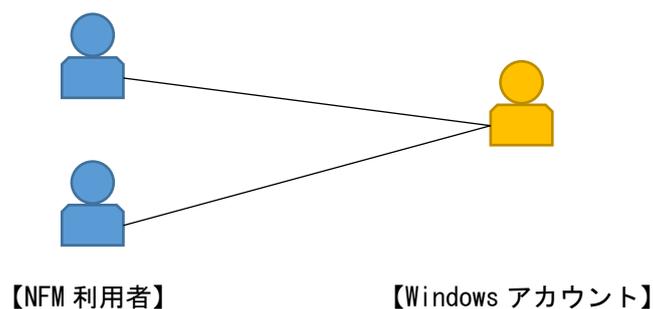


- ② 1 人の NFM 利用者が複数の Windows アカountを利用する運用



※1 人の NFM 利用者は最大 5 つの Windows アカountを設定可能です。

- ③ 複数の NFM 利用者が 1 つの Windows アカountを利用する運用



3.2. グループ管理

システム管理者は、本製品上における Windows アカウント、NFM 利用者、認証情報などのユーザ管理を行うことが可能です。

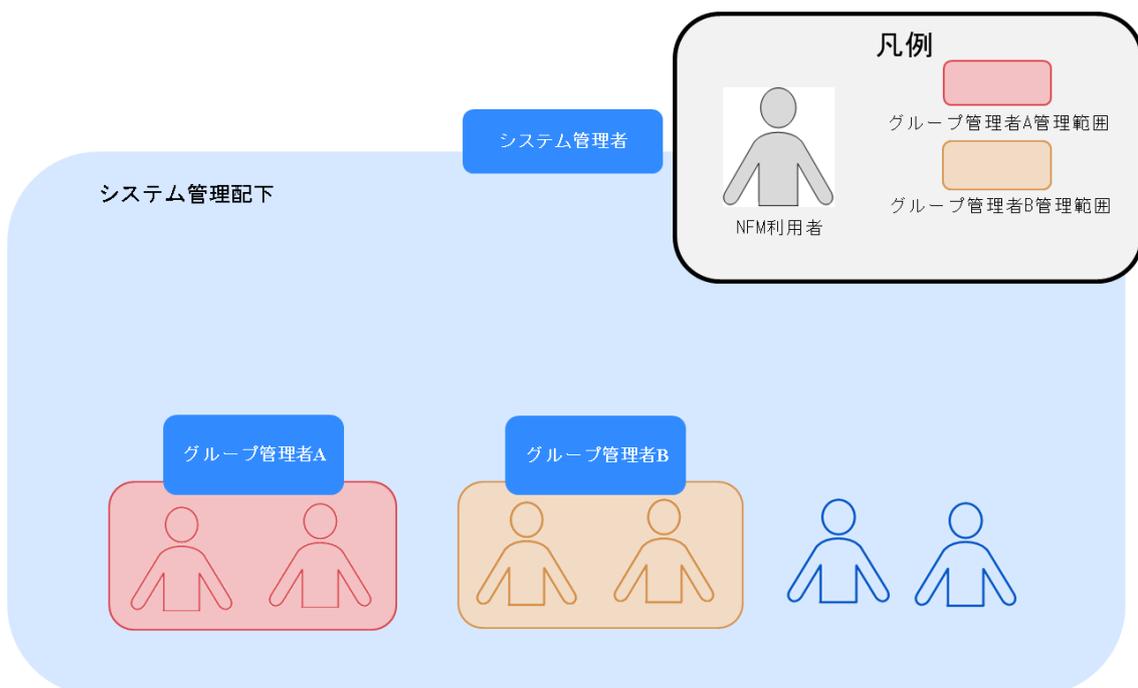
グループ管理機能を使用することで、グループ管理者が自身の管理範囲に対して、Windows アカウント、NFM 利用者、認証情報などのユーザ管理を行うことが可能です。また、グループに対して複数のグループ管理者を指定することが可能です。

3.2.1. 管理範囲

システム管理者は、グループ管理者 A の管理配下・グループ管理者 B の管理配下を含む、すべての NFM 利用者に対してユーザ管理を実施することが可能です。

グループ管理者は、自らの管理範囲（グループ管理者 A は赤色の枠内、グループ管理者 B はオレンジ色の枠内）の NFM 利用者に対して、システム管理者と同等のユーザ管理操作を実施することが可能です。また、異動中グループを除く自身の管理範囲以外に対して、ユーザ管理を行うことはできません。

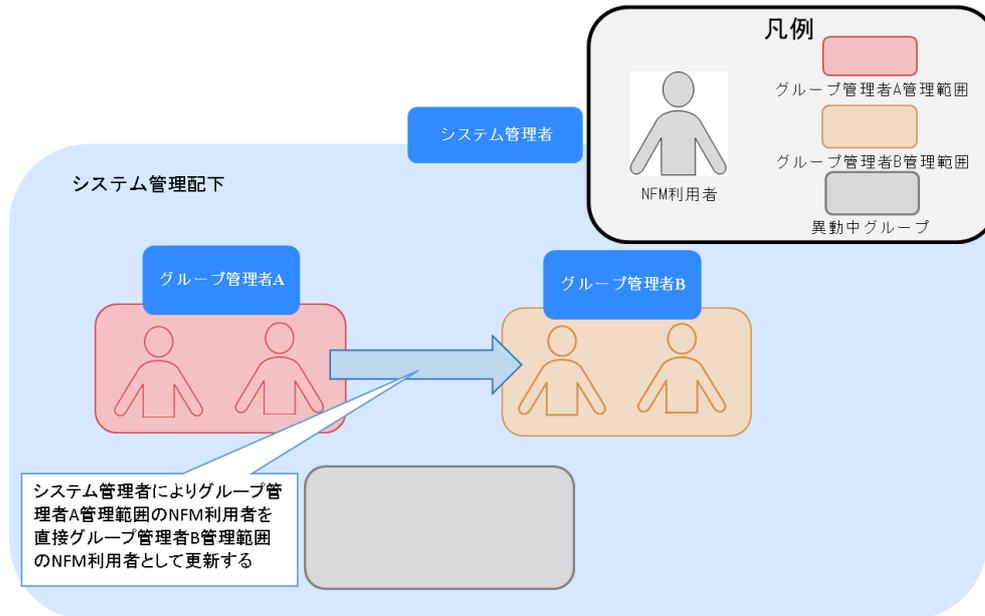
グループ管理者 A がグループ管理者 B を管理配下に置くなど、階層状の管理構造を持つことはできません。



3.2.2. グループ間異動について

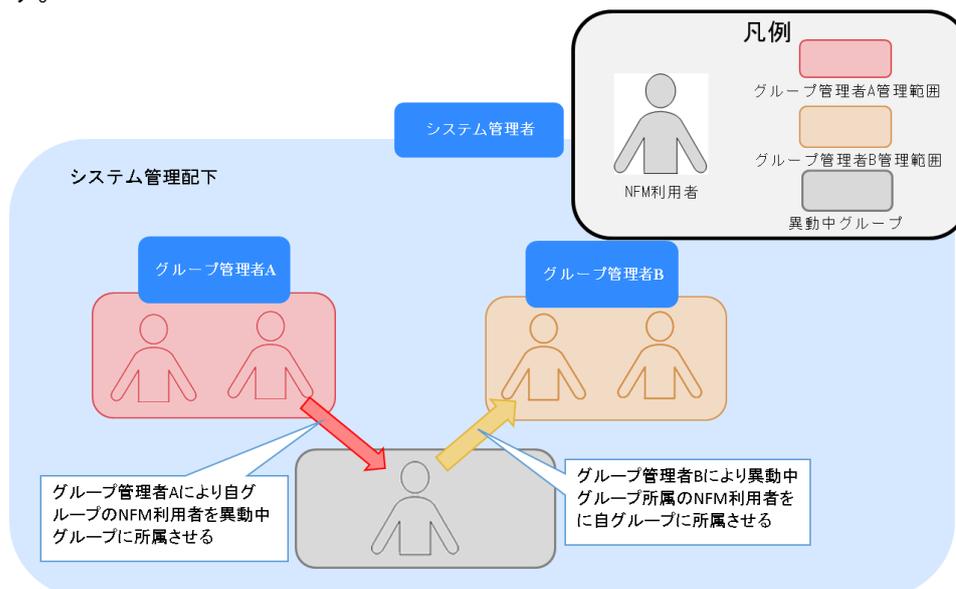
NFM 利用者の所属するグループを変更する場合は、システム管理者とグループ管理者で手順が異なります。詳細は、「6.5. グループ管理」をご参照ください。

システム管理者の場合は、異動させたい NFM 利用者に対して、異動元グループから直接異動先グループへ更新することでグループ間異動となります。

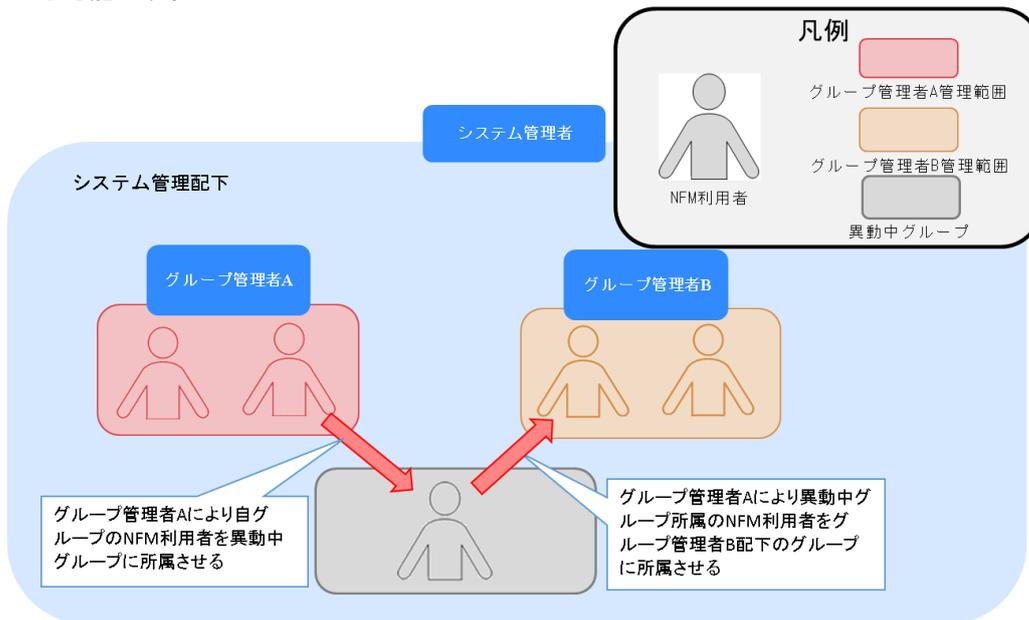


グループ管理者の場合は、異動させたい NFM 利用者に対して、異動元のグループ管理者が自身の管理グループから異動中グループへ更新し、異動先のグループ管理者が異動中グループから自身の管理グループへ更新することでグループ間異動となります。

ただし、グループ管理者自身の異動については、システム管理者のみ実施することが可能です。



もしくは、異動元のグループ管理者が自身の管理グループから異動中グループへ更新した後、そのまま異動元のグループ管理者が他グループ管理者が管理するグループへ登録することも可能です。



※グループ管理者は自身の異動中グループへの所属を含め、グループ情報（グループ管理者権限、グループ ID の追加・変更・削除）を編集することはできません。

グループ管理者のグループ情報を編集する場合は、システム管理者が編集してください。

4. NFM 運用開始フロー

本章では、NeoFace Monitor クラウド版の運用開始フローについて説明しています。利用の申し込みから運用まで、下記の順序で行います。

順序	作業
4.1	無償利用の申し込み
4.2	NeoFace Monitor クラウド版 テナント開設完了のお知らせメール受信
4.3	初期パスワード変更
4.4	NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード
4.5	システム設定
4.6	NFM クラウド版クライアントソフトのインストール
4.7	NFM 利用者の登録
4.8	NFM 利用者（一般ユーザー）の利用準備
4.9	パスワード再発行
4.10	ライセンスの購入・登録

4.1. 無償利用申し込み

NeoFace Monitor クラウド版の利用申し込みは、Web サイトから行います。

申し込み Web サイトの URL : <https://portal.neofacemonitor.com/t/eImyTWrH3Ce0>

お使いの環境にてファイアウォールで接続先への通信制限が行われている場合、無償利用申し込み Web サイトや管理ポータルへのアクセス、NeoFace Monitor クライアントソフトをインストールするためには、ポート番号およびドメインに対する通信が許可されている必要があります。詳細は「2.5.1. 管理ポータルへの接続に必要な情報」をご参照ください。

申し込みサイト画面

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

テナント申込

テナント名 (会社名)
※テナント名には、お申し込みいただく会社名を入力してください
 ※お申し込みは、1社につき1テナントまでとなります

申込者名 姓 (必須) ミドルネーム 名 (必須)

申込者メールアドレス
※フリーメールはご利用できません
 ※既に申し込みされているメールアドレスはご利用できません

テナント申込を行うには、以下の利用規約およびプライバシーポリシーに同意いただく必要があります (外部サイトのページを開きます)。

[利用規約を読む](#) [プライバシーポリシーを読む](#)

利用規約およびプライバシーポリシーを確認し、同意しました。

[申し込む](#)

各入力項目の説明

入力項目	説明
テナント名 (会社名)	テナント名には、お申し込みいただく会社名を入力してください。お申し込みは、1社につき1テナントまでとなります。
申込者名	お申し込みされる方のお名前。姓と名は必須、ミドルネームは任意です。
申込者メールアドレス	お申し込みされる方のメールアドレス。フリーメール、または、既に申し込みされたメールアドレスはご利用できません。

申し込みを行う際、以下のリンクを押下して内容をご確認いただき、内容について同意いただく必要があります。

リンク名	説明
利用規約を読む	本サービスをご利用いただく際の利用規約が記載されています。
プライバシーポリシーを読む	本サービスのプライバシーポリシーが記載されています。

同意いただく場合は「利用規約およびプライバシーポリシーを確認し、同意しました。」のチェックボックスをチェックし、「申し込む」ボタンを押下してください。

申込者メールアドレス宛てに、NeoFace Monitor クラウド版 テナント開設完了のお知らせメールが届きます。

テナント申し込み後に弊社内でテナント開設処理を行い、テナント開設完了後に、申込者メールアドレス宛にテナント開設完了メールが届きます。（最大で 1 営業日かかる場合があります。）

4.2. テナント開設完了メール受信

無償利用申し込み画面で登録したメールアドレス（NFM 利用者 ID）にテナント開設完了メールが届きます。記載されているパスワード変更 URL にアクセスしてください。

テナント開設完了メール

（件名：NeoFace Monitor クラウド版テナント開設完了のお知らせ）

<申し込み者名> 様

NeoFace Monitor クラウド版への無償利用のお申し込みをありがとうございます。
テナントの開設が完了しました。

無償利用期間の終了日は <無償利用期間の終了日> です。

はじめに、以下の Web ページから『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』と『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』をダウンロードしてください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/support.html>

→マニュアル

→NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル

NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル

サービスのご利用には、システム管理者としての事前作業の実施が必要となりますので、マニュアルを一通りお読みのうえ、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「NFM 運用開始フロー」に沿って、ご対応をお願いします。

なお、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「初期パスワード変更」（『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「パスワードの変更」）では、パスワード変更 URL と現在のパスワードが必要になります。以下を使用してください。

パスワード変更 URL : <https://portal.neofacemonitor.com/p/XXXXX>

現在のパスワード : xxxxxx

パスワード変更後は、以下の URL からログインしてください。

また、パスワード変更 URL の有効期限は 24 時間です。以下の URL からログイン後、サブメニューエリアの「パスワード変更」からもパスワードの変更が可能です。

パスワード変更後 URL : <https://portal.neofacemonitor.com/t/XXXXX>

無償利用期間の終了後も継続利用いただける場合は、無償利用期間の終了日までに、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」に沿って、ご対応をお願いします。

4.3. 初期パスワード変更

『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「3.2. パスワードの変更」を参照のうえ、初期パスワードを変更してください。

4.4. NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード

『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「4.1.NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード手順」を参照のうえ、NFM クラウド版クライアントソフトをダウンロードしてください。

4.5. システム設定

「2.5.2. 管理ポータルログイン画面」を参照し、ポータル画面にログイン後、
「9. システム設定」を参照し、Windows ログオン認証方式、および各種ポリシー設定を確認
のうえ、必要に応じて設定の変更をしてください。

4.6. NFM クライアントソフトのインストール

『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「4.2.NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順」を参照のうえ、NFM クラウド版クライアントソフトをインストールしてください。

4.7. NFM 利用者の登録

NFM 利用者一覧画面で NFM 利用者の登録を行います。
 最初の状態では、無償利用の申し込みを行った方が NFM 利用者として 1 件登録されています。
 利用を行う方を追加してください。

画面の「追加する」ボタンを押下してください。
 ※この章では画面の入力で 1 件ずつ登録する方法を説明しています。
 CSV から一括で登録する方法は「NFM 利用者情報の一括登録」をご参照ください。

NFM 利用者一覧画面（初期状態の例）

NFM利用者ID	NFM利用者名			顔画像	管理者	アプリケーション代行認証			状態	
	姓	ミドルネーム	名			許可する	認証方法	認証済		
<input type="checkbox"/> test4_uc6@example.com	test4	uc	6			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc5_2@example.com	uc	-	5	👤		-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc4@example.com	uc	-	4	👤		-	-	✅	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc3@example.com	test4	uc	3			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc2@example.com	uc	middle	2	👤		-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc1@example.com	uc		1	👤		-	-	✅	代行認証一覧	変更する

11件中1-11件

4.7.1. NFM 利用者の新規登録

NFM 利用者情報の追加画面が表示されます。
必要な項目を入力し、「保存する」ボタンを押下してください。

NFM 利用者一覧画面（新規登録の例）



NFM 利用者情報

入力項目	説明
NFM 利用者 ID（メールアドレス）	管理ポータルにログインする ID
パスワード	管理ポータルにログインするパスワード
NFM 利用者名（姓・ミドルネーム・名）	登録する方のお名前
システム管理者	登録する方をシステム管理者とする場合はチェックします
アプリログイン代行認証を許可する	アプリログイン代行認証を許可する場合はチェックします
認証方法	アプリログイン代行認証の認証方法 ※アプリログイン代行認証を許可する にチェックした場合のみ表示
認証失敗時の動作	アプリログイン代行認証の認証失敗時の動作 ※アプリログイン代行認証を許可する にチェックした場合のみ表示

グループ ID	登録する方が所属するグループの ID
グループ名	登録する方が所属するグループの名前
管理者	登録する方を所属するグループの管理者とする場合はチェックします
「Windows アカウント名」 または 「表示名」	「Windows アカウント種別」で「ローカル」、または「ドメイン」を選択した場合は、登録する方が使用する Windows アカウント 「Azure AD」を選択した場合は、登録する方が使用する表示名 (Azure AD アカウント)
Windows アカウント種別	登録する方の Windows アカウントの種別 Hybrid Azure AD Join 環境で使用する場合、ドメインアカウントでログオンする必要があるため、「ドメイン」を選択してください。
「Windows パスワード」 または 「Azure AD パスワード」	「Windows アカウント種別」で「ローカル」、または「ドメイン」を選択した場合は、Windows アカウントのパスワード 「Azure AD」を選択した場合は、Azure AD アカウントのパスワード
「コンピュータ名」 または 「ドメイン名」 または 「Azure AD ドメイン名」	「Windows アカウント種別」で「ローカル」を選択した場合は、登録する方が使用する端末の Windows コンピュータ名 「ドメイン」を選択した場合は、登録する方の Windows アカウントが所属するドメイン名 「Azure AD」を選択した場合は、登録する方の Azure AD アカウントが所属する Azure AD ドメイン名
ユーザプリンシパル名	登録するユーザプリンシパル名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合のみ表示
利用者 ID と同じメールアドレスを設定	有効にしている場合、「ユーザプリンシパル名」の値には、NFM 利用者 ID (メールアドレス) と同じ値が設定されます。「ユーザプリンシパル名」は入力できなくなります。 無効にしている場合、「ユーザプリンシパル名」が入力可能な状態になります。 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合のみ表示

※グループ ID～管理者をセットとして、1 人の NFM 利用者に 5 セットまで登録することが可能です。

※Windows アカウント名～Windows パスワードをセットとして、1 人の NFM 利用者に 5 セットまで登録することが可能です。

※NFM 利用者 ID (メールアドレス) について

- ・メールアドレスを登録すると利用の手順が記載されたメールが届きます。
- ・NFM 利用者 ID とご利用になるクラウドサービスのアカウントは一致する必要があります。

※ 「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」は、[コントロール パネル]—[ユーザー アカウント]で確認することが可能です。

確認方法

- ① タスクバーの検索に“コントロール パネル”と入力し、検索結果よりコントロール パネルを選択し、コントロール パネルを起動する。
- ② ユーザー アカウントを選択する。
- ③ ドメイン名を確認する。

※ 「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」の文字数は、NeoFace Monitor の制限があり、201 文字以内にしてください。

入力にエラーがあるとメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認のうえ入力内容を修正し、「保存する」ボタンを押下してください。

NFM 利用者一覧画面（エラーの例）



登録が正常に行われたときは、登録された方のメールアドレスに利用の手順が記載されたメールが届きます。

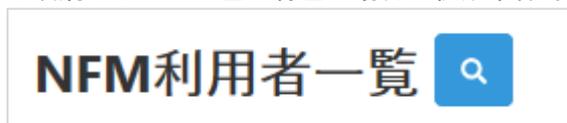
登録された NFM 利用者 ID がメールアドレスでないときは、システム管理者宛てにメールが届きます。

NFM 利用者情報を登録/変更/削除後に一覧画面に処理内容が反映されていない場合、検索条件で絞込みが行われている可能性があります。

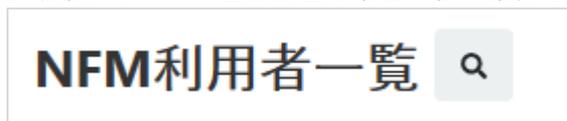
検索条件の有無は、NFM 利用者一覧のタイトル右横にある虫眼鏡アイコンの色で確認することが可能です。

・検索条件の有無

虫眼鏡アイコンの色が青色の場合：検索条件あり



虫眼鏡アイコンの色が灰色の場合：検索条件なし



※NFM 利用者の変更・削除は「NFM 利用者情報の一覧・変更・削除」をご参照ください。

4.7.2. NFM 利用者の設定項目入力値チェック

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
NFM 利用者 ID (メールアドレス)	空	NFM 利用者 ID (メールアドレス) が入力されていません。
	257 文字以上	NFM 利用者 ID (メールアドレス) は 256 文字以内で入力してください。
	文字種	半角英数字、記号以外は使用できません。
	Email の形式以外	NFM 利用者 ID (メールアドレス) の形式が正しくありません。 ※「システム管理者にする」選択時のみ
NFM 利用者名 (姓)	空	NFM 利用者名 (姓) が入力されていません。
	81 文字以上	NFM 利用者名 (姓) は 80 文字以内で入力してください。
NFM 利用者名 (ミドルネーム)	81 文字以上	NFM 利用者名 (ミドルネーム) は 80 文字以内で入力してください。
NFM 利用者名 (名)	空	NFM 利用者名 (名) が入力されていません。
	81 文字以上	NFM 利用者名 (名) は 80 文字以内で入力してください。
パスワード	空	パスワードが入力されていません。 ※新規登録時のみ
	8 文字未満	パスワードは 8 文字以上で入力してください。
	256 文字以上	パスワードは 255 文字以内で入力してください。
	文字種	半角英数字、記号以外は使用できません。

Windows アカウント名 ※Windows アカウント種別で「ローカル」または「ドメイン」を選択した場合	空	Windows アカウント名が入力されていません。
	21 文字以上	Windows アカウント名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	Windows アカウント名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
表示名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	空	表示名が入力されていません。
	21 文字以上	表示名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	表示名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
Windows パスワード ※Windows アカウント種別で「ローカル」または「ドメイン」を選択した場合	128 文字以上	Windows パスワードは 127 文字以内で入力してください。 ※NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードは 63 文字以内で入力してください。
	文字種	Windows パスワードは半角英数字、記号しか利用できません。
Azure AD パスワード ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	128 文字以上	Azure AD パスワードは 127 文字以内で入力してください。 ※NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードは 63 文字以内で入力してください。
	文字種	Azure AD パスワードは半角英数字、記号しか利用できません。

4. NFM 運用開始フロー

コンピュータ名 ※Windows アカ ント種別で「ロー カル」を選択した 場合	空	コンピュータ名が入力されていません。
	16 文字 以上	コンピュータ名は 15 文字以内で入力してください。
	文字種	コンピュータ名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
ドメイン名 ※Windows アカ ント種別で「ドメ イン」を選択した 場合	空	ドメイン名が入力されていません。
	255 文字 以上	ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
Azure AD ドメイン名 ※Windows アカ ント種別で「Azure AD」を選択した 場合	空	Azure AD ドメイン名が入力されていません。
	256 文字 以上	Azure AD ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	Azure AD ドメイン名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 " / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
ユーザプリンシ パル名 ※Windows アカ ント種別で「Azure AD」を選択した 場合	空	ユーザプリンシパル名が入力されていません。
	257 文字 以上	ユーザプリンシパル名は 256 文字以内で入力してください。
	Email の 形式以外	ユーザプリンシパル名の形式が正しくありません。

グループ情報の重複設定のチェック

項目名	エラーメッセージ
グループ ID	重複したグループが設定されています。
グループ名	

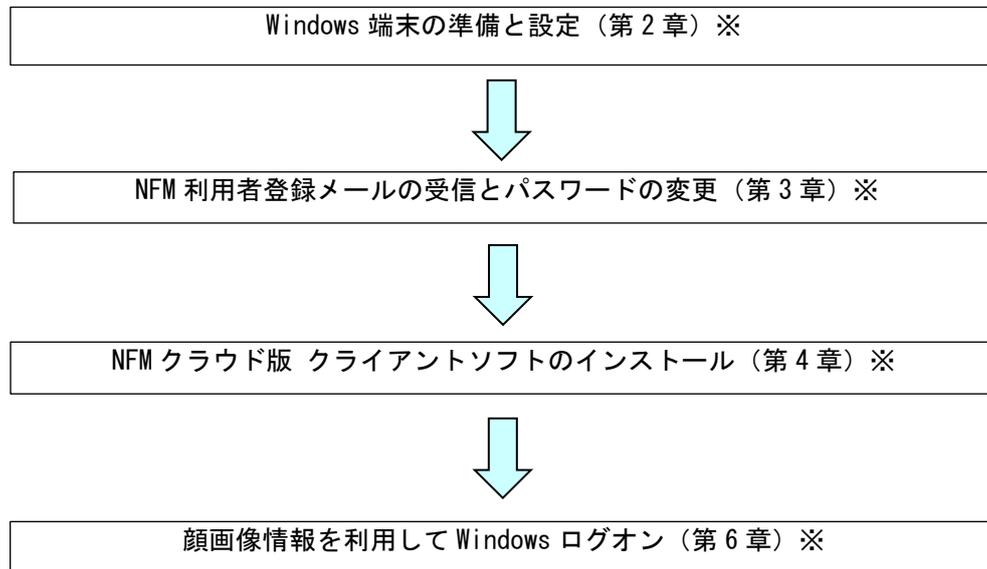
Windows アカウント情報の重複設定のチェック

項目名	エラーメッセージ
Windows アカウント名	重複した Windows アカウントが設定されています。
コンピュータ名または ドメイン名	

4.8. NFM 利用者（一般ユーザー）の利用準備

システム管理者にて登録された NFM 利用者が、NFM クラウド版を利用可能になるまでの準備をします。詳しくは『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』をご参照ください。

NFM 利用者（一般ユーザー）のご利用までの流れ



※ 図中の章番号は『NeoFace Monitor クラウド版ユーザーズマニュアル』の章番号

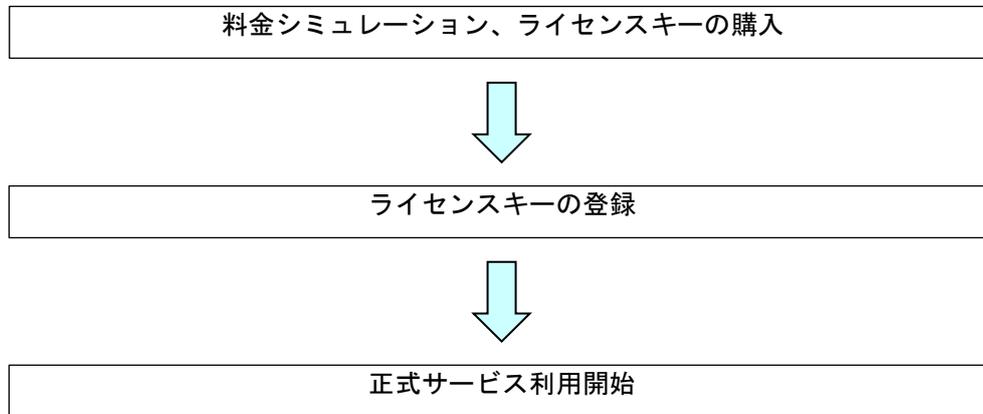
4.9. パスワード再発行

管理ポータルへログインするパスワードを忘れてしまった場合、管理ポータルのログイン画面にてパスワード再発行をします。詳しくは『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「9. パスワード再発行」をご参照ください。

4.10. ライセンスの購入・登録

無償利用期間が終了するまでにライセンスの購入、登録を行ってください。

正式サービス利用開始までの流れ



4.10.1. 料金シミュレーション、ライセンスキーの購入

下記サイトを参考に、料金のシミュレーションやライセンスキーの購入手続きを行ってください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/simulation.html>

購入手続きが完了すると、ライセンスキーが納品されます。

4.10.2. ライセンスキーの登録

「Appendix A. ライセンスキーの登録」を参照のうえ、ライセンスキー登録画面にて、購入したライセンスキーの登録を行ってください。

4.11. 無償利用期間の終了日のお知らせ

無償利用期間の終了日の 30 日前、20 日前、10 日前のタイミングで、利用期間内の有償ライセンスの登録がない場合、テナントのシステム管理者全員に無償利用期間の終了日のお知らせメールが届きます。

無償利用期間の終了後も継続利用いただける場合は、無償利用期間の終了日までに「10. ライセンスキー管理」に沿って、ご対応をお願いします。

無償利用期間の終了後は、顔認証による Windows ログオンができなくなります。あらかじめ NFM クラウド版クライアントソフトをアンインストールしてください。

無償利用期間の終了日のお知らせメール

(件名 : NeoFace Monitor クラウド版無償利用期間に関するお知らせ)

<システム管理者名> 様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

無償利用期間の終了日は YYYY/MM/DD (無償利用期間の終了日) です。

無償利用期間の終了後も継続利用いただける場合は、無償利用期間の終了日までに

『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」に沿って、ご対応をお願いします。

無償利用期間の終了後は、顔認証による Windows ログオンができなくなります。あらかじめ NFM クラウド版クライアントソフトをアンインストールしてください。

4.12. 無償利用期間終了のお知らせ

無償利用期間の終了日の翌日に利用期限内の有償ライセンスの登録がない場合、テナントのシステム管理者全員に無償利用期間終了のお知らせメールが届きます。

無償利用期間終了のお知らせメール

(件名: NeoFace Monitor クラウド版無償利用期間終了のお知らせ)

<システム管理者名> 様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

無償利用期間は YYYY/MM/DD (無償利用期間の終了日) をもって終了したため、登録された顔画像をすべて削除いたしました。

お申し込みいただいたテナントは YYYY/MM/DD (テナント削除日) まで有効ですのでそれまでにライセンスをご購入・ご登録いただき、顔画像を再登録いただければ引き続き正式サービスとしてご利用いただけます。

正式サービスの利用をご希望の場合は、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」に沿って、ご対応をお願いします。

5. NFM 利用者情報の一括登録

NFM 利用者情報の一括登録は、NFM 利用者情報の一覧ファイル、顔画像ファイル¹を使用した以下の手順で実施してください。

また作成した NFM 利用者情報の一覧ファイル、顔画像ファイルを保存しておくことで、簡易的なバックアップ用途にお使いいただけます。

「[7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力](#)」に記載の手順にて NFM 利用者情報の一覧ファイルを出力した場合は、セキュリティ上の制約から「顔画像ファイル」と「パスワード」、「Windows パスワード」は出力されません。出力した NFM 利用者情報の一覧ファイルを使用して一括登録する際は、再度それらの情報を補足してから実施してください。

1. NFM 利用者情報の一覧ファイル (CSV ファイル) をエクスポート

(※別章「[7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力](#)」を参照)

※NFM 利用者情報の一覧ファイル出力で出力された CSV ファイルは、Shift_JIS で作成されます。NFM 利用者情報の一覧ファイルの文字コードは、Shift_JIS と UTF-8 (BOM なし) をサポートしています。



2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備

NFM 利用者の顔画像ファイルを jpg または png、bmp 形式で準備します。

(別章「[5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備](#)」を参照)

※顔画像の登録に関しては、事前にシステム管理者から各 NFM 利用者に対して氏名などの個人情報とあわせて顔画像を登録することの同意を取得してください。

(NFM 利用者情報の一括登録での顔画像登録は上記合意を取得済とみなします)



3. エクスポートした NFM 利用者情報の一覧ファイル (CSV ファイル) を編集

1. CSV ファイルの編集内容は、以下の章を参照してください。

※「[5.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル \(CSV ファイル\) の作成](#)」



2. ログイン中の NFM 利用者の NFM 利用者情報の行を削除する。

※自分自身の権限設定を変更することはできないため



¹ NFM 利用者情報のみ登録する場合は、顔画像ファイルは不要です。

4. 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル（ZIP ファイル）を作成
※圧縮ファイルによる一括登録を行わない場合は作成不要です。
圧縮ファイル作成の詳細は、「[5.3. NFM 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル作成](#)」を参照してください。

↓

5. NFM 利用者の一括登録を実施
※NFM 利用者の一括登録の操作方法は、「[5.4. NFM 利用者一括登録の実行](#)」を参照してください。

※管理ポータルを操作している Windows 端末に NeoFace Monitor クラウド版クライアントソフトがインストールされていない場合、顔画像情報の一括登録を行うことができません。

5.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）の作成

エクスポートした NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）を以下の表に従って、項目の値を修正する必要があります。

- ・ NFM 利用者を新規登録する場合は、「新規登録時」の列を参照してください。
- ・ 既存の NFM 利用者情報を更新する場合は、「変更時」の列を参照してください。

CSV ファイルの設定項目一覧

項目名	NFM 利用者情報の修正方法	
	新規登録時	変更時
削除	削除の列に""を記入してください。	NFM 利用者を削除する場合のみ、“D”を記入してください。
NFM 利用者 ID（メールアドレス）	NFM 利用者 ID の列に登録する NFM 利用者 ID を記入してください。	値を変更しないでください。
パスワード	パスワードの列に登録する値を記入してください。 例) abc012xyz ※“YES”、“NO”の値はパスワードの値には設定できません。	パスワードを変更する場合のみ、パスワードの列に登録する値を記入してください。 例) abc012xyz ※“YES”、“NO”の値はパスワードの値には設定できません。 パスワードの値をクリアする場合は、“”を記入してください。
NFM 利用者（姓）	登録する NFM 利用者（姓）を記入してください。	NFM 利用者（姓）を変更する場合のみ、NFM 利用者（姓）の列に登録する値を記入してください。
NFM 利用者（ミドルネーム）	登録する NFM 利用者（ミドルネーム）を記入してください。登録しないときは""を記入してください。	NFM 利用者（ミドルネーム）を変更する場合のみ、NFM 利用者（ミドルネーム）の列に登録する値を記入してください。
NFM 利用者（名）	登録する NFM 利用者（名）を記入してください。	NFM 利用者（名）を変更する場合のみ、NFM 利用者（名）の列に登録する値を記入してください。
表示画像	表示画像の列に顔画像の保存パスを記入してください。	表示顔画を変更する場合のみ、表示画像の列に顔画像の保存パスを記入してください。
学習画像	学習画像の列に“NO”を記入してください。	一括登録から登録できない項目なので、値を変更しないでください。
代行入力機能使用有無 FL	代行入力機能使用有無 FL の列に以下の値を記入してください。 許可する場合は、“1”を記入してください。 許可しない場合は、“0”を記入してください。	アプリログイン代行認証の許可を変更する場合のみ、代行入力機能使用有無 FL の列に登録する値を記入してください。
認証方式 FL	認証方式 FL の列に以下の値を記入してください。 認証無し（シングルサインオン）の場合は、“0”を記入してください。 顔認証の場合は、“1”を記入してください。	認証方式を変更する場合のみ、認証方式 FL の列に登録する値を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

	顔+パスワード認証の場合は、“2”を記入してください。	
認証失敗時操作 FL	認証失敗時操作 FL の列に以下の値を記入してください。 ログイン画面認証とする場合は、“0”を記入してください。 再認証する場合は、“1”を記入してください。	認証失敗時操作を変更する場合のみ、認証失敗時操作 FL の列に登録する値を記入してください。
管理者	管理者の列に以下の値を記入してください。 システム管理者として登録する場合は、“1”を記入してください。 一般ユーザとして登録する場合は、“0”を記入してください。	NFM 利用者の権限を変更する場合のみ、値を変更してください。
グループ ID1	登録するグループ ID を記入してください。	グループ ID を変更する場合のみ、グループ ID の列に登録する値を記入してください。
グループ名 1	登録するグループ名を記入してください。	グループ名を変更する場合のみ、グループ名の列に登録する値を記入してください。
グループ管理者 FL1	グループ管理者 FL1 の列に以下の値を記入してください。 グループ管理者として登録する場合は、“1”を記入してください。 一般ユーザとして登録する場合は、“0”を記入してください。	グループ管理者としての権限を変更する場合のみ、値を変更してください。

グループ ID5	グループ ID1 と同様	グループ ID1 と同様
グループ名 5	グループ名 1 と同様	グループ名 1 と同様
グループ管理者 FL5	グループ管理者 FL1 と同様	グループ管理者 FL1 と同様
Windows アカウント名 1	ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 Windows アカウント名 1 の列に Windows アカウント名の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合 Windows アカウント名 1 の列に表示名の値を記入してください。	Windows アカウント名 1 を変更する場合は、以下の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 Windows アカウント名 1 の列に Windows アカウント名の値を記入してください。 ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合 Windows アカウント名 1 の列に表示名の値を記入してください。 Windows アカウント 1 を削除する場合は、Windows アカウント名 1 の列の値を“”に変更してください。
コンピュータ名またはドメイン名 1	ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合	コンピュータ名またはドメイン名を変更する場合は、以下の値を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

	<p>コンピュータ名またはドメイン名 1 の列にコンピュータ名またはドメイン名の値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合コンピュータ名またはドメイン名 1 の列に Azure AD ドメイン名の値を記入してください。</p>	<p>ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合コンピュータ名またはドメイン名 1 の列にコンピュータ名またはドメイン名の値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合コンピュータ名またはドメイン名 1 の列に Azure AD ドメイン名の値を記入してください。</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、コンピュータ名またはドメイン名 1 の値を“”に変更してください。</p>
ユーザプリンシパル名 1	<p>ユーザプリンシパル名 1 の列にユーザプリンシパル名 1 の値を記入してください。</p>	<p>ユーザプリンシパル名 1 を変更する場合は、ユーザプリンシパル名 1 の列にユーザプリンシパル名 1 の値を記入してください。</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、ユーザプリンシパル名 1 の値を“”に変更してください。</p>
ローカル Windows アカウント FL1	<p>ローカル Windows アカウント FL1 の列に以下の値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウントの場合は、“1”を記入してください。</p> <p>ドメインアカウントの場合は、“0”を記入してください。</p> <p>Azure AD ドメインアカウントの場合は、“2”を記入してください。</p> <p>Hybrid Azure AD Join 環境で使用する場合、端末にはドメインアカウントでログオンする必要があるため、ドメインアカウントの値を記入してください。</p>	<p>ローカル Windows アカウント FL を変更する場合は、ローカル Windows アカウント FL1 の列に以下の値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウントの場合は、“1”を記入してください。</p> <p>ドメインアカウントの場合は、“0”を記入してください。</p> <p>Azure AD ドメインアカウントの場合は、“2”を記入してください。</p> <p>Hybrid Azure AD Join 環境で使用する場合、端末にはドメインアカウントでログオンする必要があるため、ドメインアカウントの値を記入してください。</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、ローカル Windows アカウント FL1 の値を“”に変更してください。</p>
Windows パスワード 1	<p>ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に Windows パスワードの値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に</p>	<p>Windows パスワードを変更する場合、または以下の項目(※2)を変更した場合は、Windows パスワード 1 の列に以下の値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で“0”または“1”を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に</p>

5. NFM 利用者情報の一括登録

	<p>Azure AD パスワードの値を記入してください。</p> <p>例) abc012xyz ※“YES”、“NO”の値はパスワードの値には設定できません。</p>	<p>Windows パスワードの値を記入してください。</p> <p>ローカル Windows アカウント FL1 で“2”を選択した場合 Windows パスワード 1 の列に Azure AD パスワードの値を記入してください。</p> <p>例) abc012xyz ※“YES”、“NO”の値はパスワードの値には設定できません。 パスワードの値をクリアする場合は、“”を記入してください。 ※2:「Windows アカウント名 1」、「コンピュータ名またはドメイン名 1」、「ローカル Windows アカウント FL1」</p> <p>Windows アカウント 1 を削除する場合は、Windows パスワード 1 の値を“”に変更してください。</p>
--	---	--

Windows アカウント名 5	Windows アカウント名 1 と同様	Windows アカウント名 1 と同様
コンピュータ名またはドメイン名 5	コンピュータ名またはドメイン名 1 と同様	コンピュータ名またはドメイン名 1 と同様
ユーザプリンシパル名 5	ユーザプリンシパル名 1 と同様	ユーザプリンシパル名 1 と同様
ローカル Windows アカウント FL5	ローカル Windows アカウント FL1 と同様	ローカル Windows アカウント FL1 と同様
Windows パスワード 5	Windows パスワード 1 と同様	Windows パスワード 1 と同様

※Windows アカウントは左詰めで記入してください。

※Windows アカウント情報は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで設定可能です。

※一回にインポートできる CSV データ件数の上限は 1000 件です。

※「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」は、[コントロール パネル]－[ユーザー アカウント]で確認することが可能です。

確認方法

- ① タスクバーの検索に“コントロール パネル”と入力し、検索結果よりコントロールパネルを選択し、コントロール パネルを起動する。
- ② ユーザー アカウントを選択する。
- ③ ドメイン名を確認する。

※「ドメイン名」、「Azure AD ドメイン名」の文字数は、NeoFace Monitor の制限があり、201 文字以内にしてください。

5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備

NFM 利用者一括登録に使用する顔画像ファイルを準備します。

顔撮影のときは下記に注意してください。

- ・ カメラに向かって正面を向いてください。
- ・ 顔をはっきり映してください。

全体が暗いか、影などで顔がはっきり映っていない場合は、明るさを調整してください。また、背後に太陽光や照明の映り込みがある場合は、光源が入り込まないようにしてください。

- ・ まばたきをしないでください。
- ・ サングラスやマスクをしないでください。

※顔画像の登録に関しては、事前にシステム管理者から各 NFM 利用者に対して氏名などの個人情報とあわせて顔画像を登録することの同意を取得してください。

(NFM 利用者情報の一括登録での顔画像登録は上記合意を取得済とみなします)

5.3. NFM 利用者情報・顔画像の圧縮ファイル作成

NFM 利用者情報の一覧ファイル (CSV ファイル) と顔画像ファイルを ZIP 形式で圧縮したファイルを作成します。(圧縮ファイルを使用せずに一括登録を実行することも可能なので必須ではありません。)

CSV ファイルの形式は圧縮ファイルを使用する場合でも同じです。

圧縮ファイルを使用する場合/使用しない場合の違い

項目名	圧縮ファイルの使用	
	使用する場合	使用しない場合
NFM 利用者情報の一覧ファイル (CSV ファイル)	CSV ファイルを圧縮ファイルに格納してください	CSV ファイルを一括登録で指定して実行します
顔画像ファイル	圧縮ファイルに格納してください	顔画像の保存パスに保存してください
一括登録の実行	圧縮ファイルを指定して実行します	CSV ファイルを指定して実行します
クライアントソフトの有無	クライアントソフトがインストールされていない場合でも顔画像の登録が可能です	クライアントソフトがインストールされていない場合は顔画像の登録を行うことができません
一括登録実行中の画面遷移	一括登録実行中でも他画面への遷移が可能です (遷移した場合でもバックエンドで一括登録は継続されています)	一括登録実行中は他画面への遷移はできません

※圧縮ファイル内はフォルダ階層を作成せずに CSV ファイルと顔画像ファイルを格納してください。CSV ファイルの名前は import.csv としてください。

5.4. NFM 利用者一括登録の実行

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「NFM 利用者一括登録の実行」を押下し、NFM 利用者一括登録画面を表示します。

NFM 利用者一括登録は、NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）を使用して実行、または CSV ファイルおよび顔画像ファイルを ZIP 形式で圧縮したファイル（ZIP ファイル）を使用して実行することが可能です。

CSV ファイルまたは zip ファイルをドロップエリアにドロップ、または「ファイルを選択」ボタンを押下して対象のファイルを選択後、「一括登録する」ボタンを押下すると取込を開始します。

NFM 利用者一括登録画面



5.4.1. CSV ファイルを使用して実行する場合

NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）を使用して実行する場合、当画面でのリアルタイム実行となります。実行中に他画面へ遷移を行うと処理が中断します。

※実行時間は登録する画像の種類やサイズによって異なります。

また、CSV ファイルの件数やネットワークの通信速度の状態によっては実行時間が長くなる場合があります。

画像 1 枚あたりの実行時間の目安

5MP (2560x1920) bmp ファイル	:	5～7 秒
5MP (2560x1920) jpg ファイル	:	1～3 秒
5MP (2560x1920) png ファイル	:	3～5 秒
VGA (640x480) bmp ファイル	:	1～3 秒
VGA (640x480) jpg ファイル	:	1～3 秒
VGA (640x480) png ファイル	:	1～3 秒

5. NFM 利用者情報の一括登録

※実行中に日付が変わる場合、NFM 利用者一括登録がエラーとなります。実行中に日付が変わらないようご注意ください。

NFM 利用者一括登録が完了すると完了画面が表示されます。

NFM 利用者一括登録完了画面



登録が正常に行われたときは、登録された方のメールアドレスに利用の手順が記載されたメールが届きます。

登録された NFM 利用者 ID がメールアドレスでないときは、システム管理者宛てにメールが届きます。

5.4.2. ZIP ファイルを使用して実行する場合

NFM 利用者情報の一覧ファイル（CSV ファイル）および顔画像ファイルを ZIP 形式で圧縮したファイル（ZIP ファイル）を使用して実行する場合、実行中に他画面への遷移が可能です。（遷移した場合はバックエンドで処理が継続されます）

実行中に他画面に遷移し、当画面に再び戻ってきた場合にはその時点での実行状況が表示されます。（実行中の表示または完了画面の表示となります。）

NFM 利用者一括登録画面（実行中）



NFM 利用者一括登録が完了すると完了画面が表示されます。

NFM 利用者一括登録完了画面



登録が正常に行われたときは、登録された方のメールアドレスに利用の手順が記載されたメールが届きます。

登録された NFM 利用者 ID がメールアドレスでないときは、システム管理者宛てにメールが届きます。

※Zip ファイルを使用して利用者の顔画像を登録した場合、一括登録の終了時点では利用者 ID に該当する顔画像が NFM 利用者一覧および顔情報詳細に反映されません。
クライアントソフトから顔認証を実行した時点で顔画像が反映されます。

※CSV ファイルの件数によっては実行時間が長くなる場合があります。
NFM 利用者 1 件あたりの実行時間の目安 : 1~3 秒

5.4.3. NFM 利用者一括登録エラーメッセージ一覧

NFM 利用者一括登録で発生するエラーメッセージと対処方法について記載します。

エラーメッセージと対処方法一覧

項目	エラーメッセージ	対処方法
NFM 利用者 ID	NFM 利用者 ID の形式が正しくありません。	NFM 利用者 ID が空欄、または 256 文字を超過している場合に表示されます。 256 文字以下の NFM 利用者 ID を記入してください。
	NFM 利用者 ID (メールアドレス) は半角英数字、記号しか利用できません。	NFM 利用者 ID に半角英数字以外の文字が含まれる場合に表示されます。 半角英数字、記号で構成された NFM 利用者 ID を記入してください。
パスワード	パスワードは 8 文字以上で入力してください。	利用者登録において、パスワードが未記入、または 7 文字以下の場合に表示されます。 8 文字以上のパスワードを記入してください。
	パスワードの形式が正しくありません。	パスワードに半角英数字、記号以外の文字が含まれている、または 256 文字以上の場合に表示されます。 255 文字以下の半角英数字、記号で構成されたパスワードを記入してください。
NFM 利用者名 (姓)	NFM 利用者名 (姓) が入力されていません。	NFM 利用者名 (姓) が空欄の場合に表示されます。 NFM 利用者名 (姓) を記入してください。
	NFM 利用者名 (姓) の形式が正しくありません。	NFM 利用者名 (姓) が 81 文字以上の場合に表示されます。 80 文字以下の NFM 利用者名 (姓) を記入してください。
NFM 利用者名 (ミドルネーム)	NFM 利用者名 (ミドルネーム) の形式が正しくありません。	NFM 利用者名 (ミドルネーム) が 81 文字以上の場合に表示されます。 80 文字以下の NFM 利用者名 (ミドルネーム) を記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

NFM 利用者名 (名)	NFM 利用者名 (名) が入力されていません。	NFM 利用者名 (名) が空欄の場合に表示されます。 NFM 利用者名 (名) を記入してください。
	NFM 利用者名 (名) の形式が正しくありません。	NFM 利用者名 (名) が 81 文字以上の場合に表示されます。 80 文字以下の NFM 利用者名 (名) を記入してください。
Windows アカウント名	Windows アカウント名 {x} が入力されていません。	Windows アカウント名が記入されてなく、その他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 Windows アカウントを記入してください。
	Windows アカウント名 {x} の形式が正しくありません。	Windows アカウント名が、以下の条件を満たさない場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 半角英数字、記号 ※以下の記号は使用できません。 “ / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ・ 20 文字以内 ・ 半角スペースのみではない 上記条件を満たす Windows アカウント名を記入してください。
コンピュータ名またはドメイン名	コンピュータ名またはドメイン名 {x} が入力されていません。	コンピュータ名またはドメイン名が記入されてなく、その他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 コンピュータ名またはドメイン名を記入してください。
	コンピュータ名またはドメイン名 {x} の形式が正しくありません。	コンピュータ名またはドメイン名が、以下の条件を満たさない場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 半角英数字、記号 ※以下の記号は使用できません。 “ / ¥ [] : ; = , + * ? < > @ ・ Windows アカウント FL が 1 の場合、15 文字以内 ・ Windows アカウント FL が 0、または 2 の場合、255 文字以内 ・ 半角スペースのみではない

5. NFM 利用者情報の一括登録

		上記条件を満たすコンピュータ名またはドメイン名を記入してください。
ユーザプリンシパル名	ユーザプリンシパル名 {x} が入力されていません。	ユーザプリンシパル名が記入されてなく、その他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 ユーザプリンシパル名を記入してください。
	ユーザプリンシパル名 {x} の形式が正しくありません。	ユーザプリンシパル名が 256 文字を超過している場合、または、半角英数字以外の文字が含まれる場合に表示されます。 256 文字以下の半角英数字、記号で構成されたユーザプリンシパル名を記入してください。
ローカル Windows アカウント FL	Windows アカウント FL {x} が入力されていません。	Windows アカウント FL が記入されてなく、その他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 Windows アカウント FL を記入してください。
	Windows アカウント FL {x} の形式が正しくありません。	Windows アカウント FL が、0、1、2 以外の場合に表示されます。 Windows アカウント FL に、0、1、2 のいずれかを記入してください。
Windows パスワード	Windows パスワード {x} が入力されていません。	Windows パスワードが記入されてなく、その他の Windows アカウント情報が記入されている場合に表示されます。 Windows パスワードを記入してください。
	Windows パスワード {x} の形式が正しくありません。	Windows パスワードが、以下の条件を満たさない場合に表示されます。 ・ 127 文字以内 ・ 半角英数字、記号 ※NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応しておりません。Windows パスワードは 63 文字以内で記入してください。

5. NFM 利用者情報の一括登録

		上記条件を満たす Windows パスワードを記入してください。
削除	削除列の形式が正しくありません。	削除列に” D” 以外の文字が記入された場合に表示されます。 削除列は空欄、または” D” を記入してください。
NFM 利用者 ID	利用者 ID と一致する利用者が存在しません。	利用者削除の場合に、指定された利用者が見つからない場合に表示されます。 削除対象の利用者が間違いないか、または既に削除済の利用者を削除しようとしてないか、ご確認ください。
	自分自身を削除することはできません。	ログイン中の利用者を削除しようとした場合に表示されます。 削除対象の利用者を除外するか、別の NFM 利用者 ID でログインしてから削除してください。
表示画像	NFM 利用者情報は登録または更新されましたが、顔画像の処理に失敗しました。	表示画像に記入したファイルパスに画像ファイルが存在しない場合、または NFM 利用者一括登録を実行中の Windows 端末に、NFM クライアントソフトがインストールされていない場合に表示されます。 顔画像の判別ができない場合は、エラーになる場合があります。 登録する顔画像については、「5.2. NFM 利用者顔画像ファイルの準備」をご参照ください。 画像ファイル名やパス名が正しくない場合は修正してください。 NFM クライアントソフトがインストールされていない場合は、インストールしてください。
-	処理が中断されました。	NFM 利用者一括登録中、中断した場合に表示されます。 必要に応じて再度 NFM 利用者一括登録を実行してください。

※Windows アカウントに関する {x} という表記は、紐づけ登録できるアカウント 1~5 の数字を指します。

※上記にないエラーは、サポート窓口にお問い合わせください。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

6.1. NFM 利用者一覧の表示

NFM 利用者の一覧を確認することができます。

メニューエリアから「NFM 利用者管理」を押下し、NFM 利用者一覧画面を表示します。

NFM 利用者一覧画面

検索条件展開ボタン

検索結果一覧

検索結果件数

ページング

項目レイアウト

項目名	説明
検索条件展開ボタン	NFM 利用者の検索条件欄を展開表示します。
検索結果一覧	検索結果の一覧です。
検索結果件数	検索結果の行数です。
ページング	一覧の表示しているページを切替えます。

6.1.1. NFM 利用者の検索条件

検索条件欄を展開表示します。変更する場合は、検索条件を入力してください。「検索する」ボタンを押下すると、検索条件に沿った検索結果一覧を表示します。

NFM 利用者一覧の検索条件

項目名	検索内容
NFM 利用者 ID (メールアドレス)	検索する NFM 利用者 ID (メールアドレス) を入力します (部分一致)。
NFM 利用者名	検索する NFM 利用名を入力します (部分一致)。
グループ ID	検索するグループ ID を入力します (部分一致)。
グループ名	検索するグループ名を入力します (部分一致)。
管理者	管理者に関する条件を設定します。
所属グループの有無	所属グループの有無に関する条件を設定します。
顔画像登録	顔画像登録の有無に関する条件を設定します。
紐付け Windows アカウントの有無	紐付け Windows アカウントの有無に関する条件を設定します。

検索するボタン	検索条件による検索を実行します。
クリアするボタン	検索条件をクリアします。

6.1.2. NFM 利用者の一覧項目

NFM 利用者一覧の各項目について説明します。

NFM利用者ID	NFM利用者名			顔画像	管理者	アプリログイン代行認証			状態	代行認証一覧	変更する
	姓	ミドルネーム	名			許可する	認証方法	認証失敗			
<input type="checkbox"/> test4_uc6@example.com	test4	uc	6				-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc5_2@example.com	uc	-	5	👤			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc4@example.com	uc	-	4	👤			-	-	✅	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc3@example.com	test4	uc	3				-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc2@example.com	uc	middle	2	👤			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/> test4_uc1@example.com	uc		1	👤			-	-	✅	代行認証一覧	変更する

一覧表示の項目

項目名	表示内容
選択チェックボックス	利用者を削除する際の対象を選択します。
NFM 利用者 ID	NFM 利用者 ID です。
NFM 利用者名 (姓)	NFM 利用者名 (姓) です。
NFM 利用者名 (ミドルネーム)	NFM 利用者名 (ミドルネーム) です。
NFM 利用者名 (名)	NFM 利用者名 (名) です。
顔画像	顔画像が登録されている場合はアイコンを表示します。アイコンを押下すると、顔情報の詳細画面へ遷移します。(*1)
管理者	管理者の場合はアイコンを表示します。
アプリログイン代行認証	利用者のアプリログイン代行認証が許可されている場合はアイコンを表示します。

認証方法	利用者のアプリログイン代行認証の認証方法を表示します。
認証失敗時の動作	利用者のアプリログイン代行認証の認証失敗時の動作を表示します。
グループ ID(*2)	利用者のグループ ID を表示します。
グループ名(*2)	利用者のグループ名を表示します。
グループ管理者(*2)	利用者がグループ管理者に設定されている場合はアイコンを表示します。
Windows アカウント名(*3)	「Windows アカウント種別」で「ローカル」または「ドメイン」を選択し登録された場合は、紐付け登録した Windows アカウント名です。 「Windows アカウント種別」で「Azure AD」を選択し登録された場合は、紐付け登録した表示名です。
コンピュータ名(*3)	紐付け登録したコンピュータ名です。 ※「Windows アカウント種別」で「ローカル」を選択し登録された場合のみ値が表示されます。
ドメイン名(*3)	「Windows アカウント種別」で「ドメイン」を選択し登録された場合は、紐付け登録したドメイン名です。 「Windows アカウント種別」で「Azure AD」を選択し登録された場合は、紐付け登録した Azure AD ドメイン名です。 ※「Windows アカウント種別」で「ドメイン」または「Azure AD」を選択し登録された場合のみ値が表示されます。
ユーザプリンシパル名(*3)	紐付け登録したユーザプリンシパル名です。 ※「Windows アカウント種別」で「Azure AD」を選択し登録された場合のみ値が表示されます。
登録日時	利用者の登録日時です。
状態	利用者の下記設定の状態を表示します。 ・顔画像登録の有無 ・紐づけ Windows アカウントの有無

(*1) Zip ファイルを使用した利用者一括登録で利用者の顔画像を登録した場合、または「Bio-IDiom Services for SaaS」・「Bio-IDiom Services ID 連携」でメンバー情報および顔画像・生体情報が登録された場合、登録終了時点では利用者 ID に該当する顔画像が NFM 利用者一覧および顔情報詳細に反映されません。クライアントソフトから顔認証を実行した時点で、クライアント端末が「オンライン」の場合、顔画像が反映されます。
Zip ファイルを使用した利用者一括登録については「5. NFM 利用者情報の一括登録」をご覧ください。

「Bio-IDiom Services for SaaS」・「Bio-IDiom Services ID連携」については「12. 外部システム連携」をご覧ください

(*2) 登録したグループ#1～#5 の情報を表示します。

(*3) 紐づけ登録した Windows アカウント#1～#5 の情報を表示します。

6.2. NFM 利用者情報の変更

変更したい行の「変更する」ボタンを押下すると、変更用ダイアログが表示されます。

NFM 利用者一覧画面（変更の例：初期状態）

The screenshot shows the 'NFM利用者一覧' (NFM User List) page. The table contains the following data:

NFM利用者ID	NFM利用者名			顔画像	管理者	アプリケーション代行認証		許可する	認証方法	代行認証一覧	変更する
	姓	ミドルネーム	名								
test4_uc6@example.com	test4	uc	6								
test4_uc5_2@example.com	uc	-	5								
test4_uc4@example.com	uc	-	4							代行認証一覧	変更する
test4_uc3@example.com	test4	uc	3							代行認証一覧	変更する
test4_uc2@example.com	uc	middle	2							代行認証一覧	変更する
test4_uc1@example.com	uc	-	1							代行認証一覧	変更する

A callout box labeled '① 変更するボタンを押下' (Click the Change button) points to the '変更する' button in the row for 'test4_uc4@example.com'.

項目の値を変更し、「保存する」ボタンを押下してください。

NFM 利用者一覧画面（入力可状態の例）

The screenshot shows the '変更する' (Change) dialog box for a user. The dialog contains the following fields and options:

- グループ #2: 未設定
- グループ #3: 未設定
- グループ #4: 未設定
- グループ #5: 未設定
- Windowsアカウント種別: ローカル (selected), ドメイン, Azure AD
- Windowsパスワード: [Input field]
- コンピュータ名: [Input field]
- ※新規登録時は必須、変更する場合のみ入力不要です。
- Buttons: キャンセル, 保存する

Callout boxes indicate: '② 変更用のダイアログが表示されます' (Change dialog is displayed) and '③ 入力後に保存するボタンを押下' (Click the Save button after input).

6.3. NFM 利用者情報の削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

NFM 利用者一覧画面（削除の例：初期状態）

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NFM利用者一覧

NFM利用者ID	NFM利用者名			顔画像	管理者	アプリログイン代行認証設			状態		
	姓	ミドルネーム	名			許可する	認証方法	認証先			
<input type="checkbox"/>	test4_uc6@example.com	test4	uc	6			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc5_2@example.com	uc	-	5			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input checked="" type="checkbox"/>	test4_uc4@example.com	uc	-	4			-	-	✔	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc3@example.com	test4	uc	3			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc2@example.com	uc	middle	2			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc1@example.com	uc	-	1			-	-	✔	代行認証一覧	変更する

削除する

11件中1-11件

確認用ダイアログにて「削除する」ボタンを押下すると、対象の行が削除されます。

※システム管理者の人数がゼロになってしまうような更新は実行できません。
（更新時にエラーとなります）

NFM 利用者一覧画面（削除：確認ダイアログの表示）

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NFM利用者一覧

NFM利用者ID	NFM利用者名			顔画像	管理者	アプリログイン代行認証設			状態		
	姓	ミドルネーム	名			許可する	認証方法	認証先			
<input type="checkbox"/>	test4_uc6@example.com	test4	uc	6			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc5_2@example.com	uc	-	5			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input checked="" type="checkbox"/>	test4_uc4@example.com	uc	-	4			-	-	✔	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc3@example.com	test4	uc	3			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc2@example.com	uc	middle	2			-	-	⚠	代行認証一覧	変更する
<input type="checkbox"/>	test4_uc1@example.com	uc	-	1			-	-	✔	代行認証一覧	変更する

確認

選択されたNFM利用者情報を削除します。
※NFM利用者に超づくWindowsアカウント情報は削除されません。

キャンセル **削除する**

削除する

11件中1-11件

6.4. アプリログイン代行認証

アプリログイン代行認証が許可されている NFM 利用者の行の「代行認証一覧」ボタンを押下すると、アプリログイン代行認証一覧画面が表示されます。

最初の状態では、アプリログイン代行認証の設定は登録されていません。

アプリログイン代行認証一覧画面（初期状態）



※システム管理者は全 NFM 利用者のアプリログイン代行認証を設定することが可能です。
グループ管理者は自グループに所属する利用者のアプリログイン代行認証を設定することが可能です。

一般ユーザーは自分のアプリログイン代行認証を設定することが可能です。

一覧表示の項目

項目名	表示内容
選択チェックボックス	アプリログイン代行認証の設定を削除する際の対象を選択します。
管理者	システム管理者によって登録された行の場合はアイコンが表示されます。
アプリケーション名	アプリケーション名です。
タイトル/ダイアログ名	タイトル/ダイアログ名です。
URL/ファイルパス	URL/ファイルパスです。

6.4.1. アプリログイン代行認証の新規登録

アプリログイン代行認証の設定の新規登録は、「アプリログイン代行認証の反映」画面または NFM クラウド版クライアントソフトから行います。

「アプリログイン代行認証の反映」画面からの新規登録の詳細は、「6. 4. 5. アプリログイン代行認証の反映」をご参照ください。

NFM クラウド版クライアントソフトからの新規登録の詳細は、『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「8. アプリログイン代行認証の登録」をご参照ください。

6.4.2. アプリログイン代行認証の変更

変更したい行の「詳細」ボタンを押下すると、変更用ダイアログが表示されます。

アプリログイン代行認証一覧画面（変更の例：初期状態）



項目の値を変更し、「確定」ボタンを押下してください。

アプリログイン代行認証一覧画面（入力可状態の例）



※システム管理者が登録している行は管理者の列にアイコンが表示されています。
この行はグループ管理者、一般ユーザーは変更できません。

6.4.3. アプリログイン代行認証の削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証一覧画面（削除の例：初期状態）

① 対象行にチェックを入れる

② 削除するボタンを押下

管理者	アプリケーション名	タイトル/ダイアログ名	URL/ファイルパス	
<input checked="" type="checkbox"/>	XYZ	画面 1	abcde	詳細

確認用ダイアログにて「削除する」ボタンを押下すると、対象の行が削除されます。

アプリログイン代行認証一覧画面（削除：確認ダイアログの表示）

③ 確認用のダイアログが表示されます

④ 削除するボタンを押下

管理者	アプリケーション名	タイトル/ダイアログ名	URL/ファイルパス	
<input checked="" type="checkbox"/>	XYZ	画面 1	abcde	詳細

※システム管理者が登録している行は管理者の列にアイコンが表示されています。
この行はグループ管理者、一般ユーザーは削除できません。

6.4.4. アプリログイン代行認証一覧の出力

アプリログイン代行認証一覧出力機能を使用して、アプリログイン代行認証情報の一覧をファイル出力可能です。

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「アプリログイン代行認証一覧の出力」を押下し、アプリログイン代行認証情報の出力画面を表示します。

「出力する」ボタンを押下すると出力を開始します。

※システム管理者が実行する場合は、登録されているすべてのアプリログイン代行認証情報が出力されます。

※グループ管理者が実行する場合は、自分がグループ管理者になっているグループ内の NFM 利用者に対するアプリログイン代行認証情報が出力されます。

アプリログイン代行認証一覧の出力画面



項目レイアウト

項目名	出力内容
削除	固定値 ""
管理者登録	管理者に設定されている場合は"1"、設定されていない場合は"0"
利用者 ID	登録されている NFM 利用者 ID (メールアドレス)
業務アプリ ID	登録されている業務アプリ ID
業務アプリ名	登録されている業務アプリ名

画面名称	登録されている画面名称
画面数	登録されている画面数
代行入力情報 1	登録されている代行入力情報 1
パスワード FL1	登録されているパスワード FL1

:

:

代行入力情報 5	代行入力情報 1 と同様
パスワード FL5	パスワード FL1 と同様
自動送信 FL	登録されている自動送信 FL
ボタン情報	登録されているボタン情報
自動送信 INDEX	登録されている自動送信 INDEX

※代行入力情報・パスワード FL は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで出力されます。

6.4.5. アプリログイン代行認証一覧の反映

アプリログイン代行認証一覧反映機能を使用して、アプリログイン代行認証情報を一括登録可能です。

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「アプリログイン代行認証一覧の反映」を押下し、アプリログイン代行認証一覧の反映画面を表示します。

アプリログイン代行認証情報の一括登録は、アプリログイン代行認証情報の一覧ファイル（CSV ファイル）を使用して実行します。

CSV ファイルをドロップエリアにドロップ、または「ファイルを選択」ボタンを押下して対象のファイルを選択後、「一括登録する」ボタンを押下すると取込を開始します。

※システム管理者が実行する場合は、すべての NFM 利用者に対して一括登録が可能です。

※グループ管理者が実行する場合は、自分がグループ管理者になっているグループ内の NFM 利用者に対して一括登録が可能です。

アプリログイン代行認証一覧の反映画面



- ・ アプリログイン代行認証情報を新規登録する場合は、「新規登録時」の列を参照してください。
- ・ 既存のアプリログイン代行認証情報を更新する場合は、「変更時」の列を参照してください。

CSV ファイルの設定項目一覧

項目名	アプリログイン代行認証情報の設定方法	
	新規登録時	変更時
削除	削除の列に“”を記入してください。	アプリログイン代行認証情報を削除する場合のみ、“D”を記入してください。
管理者登録	一括登録から登録できない項目なので、値を変更しないでください。	一括登録から変更できない項目なので、値を変更しないでください。
利用者 ID	アプリログイン代行認証登録を利用する NFM 利用者 ID を記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の NFM 利用者 ID を記入してください。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

業務アプリ ID	アプリログイン代行認証で登録する URL やファイルパスを記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の業務アプリ ID を記入してください。
業務アプリ名	アプリログイン代行認証で登録するアプリケーション名を記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の業務アプリ名を記入してください。
画面名称	アプリログイン代行認証で登録する画面名称を記入してください。	変更したいアプリログイン代行認証情報の画面名称を記入してください。
画面数	アプリログイン代行認証を実施する画面の画面数を1から遷移する画面の順に記入してください。	画面数を変更する場合のみ、画面数の列に登録する値を記入してください。
代行入力情報 1	アプリログイン代行認証の1つ目の代行認証情報を記入してください。	代行認証情報 1 を変更する場合のみ、代行認証情報 1 の列に登録する値を記入してください。
パスワード FL1	代行認証情報 1 がパスワードの場合は"1"、パスワード以外の場合は"0"を記入してください。	パスワード FL1 を変更する場合のみ、パスワード FL1 の列に登録する値を記入してください。
：	：	：
代行入力情報 5	代行入力情報 1 と同様	代行入力情報 1 と同様
パスワード FL5	パスワード 1 と同様	パスワード 1 と同様
自動送信 FL	自動送信をする場合は"1"、自動送信をしない場合は"0"を記入してください。	自動送信 FL を変更する場合のみ、自動送信 FL の列に登録する値を記入してください。
ボタン情報	自動で送信可能なボタン情報をカンマ区切りで記入してください。	ボタン情報を変更する場合のみ、ボタン情報の列に登録する値を記入してください。
自動送信 INDEX	ボタン情報の何番目のボタンを自動クリックしたいのか 0 から番号を記入してください。	自動送信 INDEX を変更する場合のみ、自動送信 INDEX の列に登録する値を記入してください。

アプリログイン代行認証一覧の反映が完了すると完了画面が表示されます。

アプリログイン代行認証一覧の反映画面



6.4.6. アプリログイン代行認証一括登録エラーメッセージ一覧

アプリログイン代行認証一覧の一括登録で発生するエラーメッセージと対処方法について記載します。

エラーメッセージと対処方法一覧

項目	エラーメッセージ	対処方法
削除	削除列の形式が正しくありません。	削除列に” D” 以外の文字が記入された場合に表示されます。 削除列は空欄、または” D” を記入してください。
利用者 ID	NFM 利用者 ID の形式が正しくありません。	NFM 利用者 ID が空欄、または 256 文字を超過している場合に表示されます。 256 文字以下の NFM 利用者 ID を記入してください。
	NFM 利用者 ID (メールアドレス) は半角英数字、記号しか利用できません。	NFM 利用者 ID に半角英数字以外の文字が含まれる場合に表示されます。 半角英数字、記号で構成された NFM 利用者 ID を記入してください。
	利用者 ID と一致する利用者が存在しません。	登録されていない NFM 利用者 ID が記入された場合に表示されます。 登録された NFM 利用者 ID を記入してください。
業務アプリ ID	業務アプリ ID の形式が正しくありません。	業務アプリ ID が空欄、または 3000 文字を超過している場合に表示されます。 3000 文字以下の業務アプリ ID を記入してください。
業務アプリ名	業務アプリ名の形式が正しくありません。	業務アプリ名が空欄、または 260 文字を超過している場合に表示されます。 260 文字以下の業務アプリ名を記入してください。
画面名称	画面名称の形式が正しくありません。	画面名称が空欄、または 256 文字を超過している場合に表示されます。 256 文字以下の画面名称を記入してください。
画面数	画面数の形式が正しくありません。	画面数に 0~9 以外の文字が記入された場合に表示されます。 0~9 の文字で画面数を入力してください。
代行入力情報 {x}	代行入力情報 {x} の形式が正しくありません。	代行入力情報が 256 文字を超過している場合に表示されます。 256 文字以下の代行入力情報を記入してください。

6. NFM 利用者情報の一覧・変更・削除

パスワード FL {x}	パスワード FL {x} の形式が正しくありません。	パスワード FL に“0”か“1”以外の文字が記入された場合に表示されます。 “0”か“1”でパスワード FL を記入してください。
自動送信 FL	自動送信 FL の形式が正しくありません。	自動送信 FL に“0”か“1”以外の文字が記入された場合に表示されます。 “0”か“1”で自動送信 FL を記入してください。
ボタン情報	ボタン情報の形式が正しくありません。	ボタン情報が 3000 文字を超過している場合に表示されます。 3000 文字以下のボタン情報を記入してください。
自動送信 INDEX	自動送信 INDEX の形式が正しくありません。	自動送信 INDEX に整数値以外の文字が記入された場合に表示されます。 整数値で自動送信 INDEX を記入してください。

6.5. グループ管理

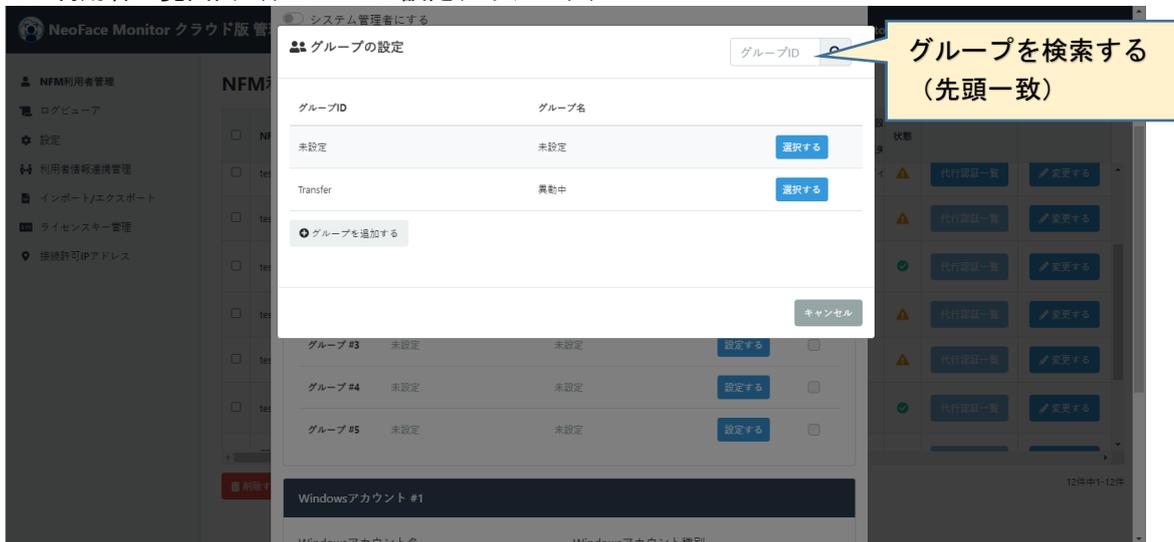
6.5.1. グループの選択

NFM 利用者の登録/更新ダイアログで、グループ設定 グループ#1~#5 の「設定する」ボタンを押下すると、グループの設定ダイアログが表示されます。

NFM 利用者一覧画面（登録/更新ダイアログ）



NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ）



最初の状態では、グループ名「未設定」と「異動中」の行が表示されています。

グループ ID を先頭一致で検索することが可能です。(英大文字・小文字は区別しません)

一覧表示の項目

項目名	表示内容
グループ ID	グループ ID です。
グループ名	グループ名です。

「選択」ボタンを押すと、NFM 利用者の登録/更新ダイアログに選択したグループが設定されます。

NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ）

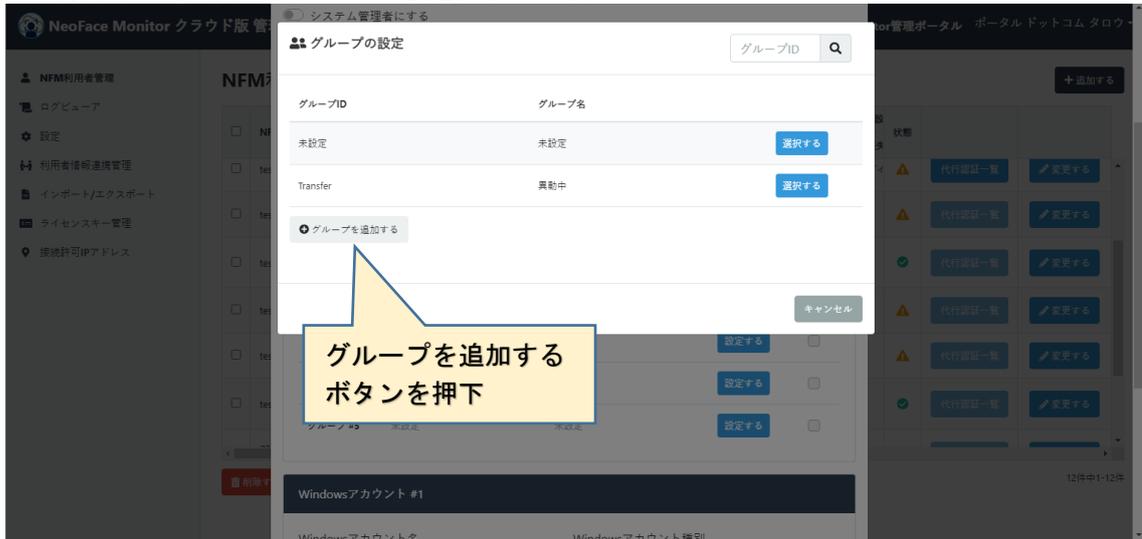


6.5.2. グループの新規登録

「グループを追加する」ボタンを押下すると、グループ ID、グループ名が入力できる行が追加されます。グループ ID、グループ名を入力し、「選択」ボタンを押すと、NFM 利用者の登録/更新ダイアログにグループが設定されます。

※グループ管理者はグループの新規登録はできません。

NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ）



NFM 利用者一覧画面（グループの設定ダイアログ：新規登録）



グループの項目入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
グループ ID	空	グループ ID は必須です。
	半角英数字 以外の値	グループ ID の形式が正しくありません。
	重複している グループ ID	すでに登録されているグループ ID が指定されています。
グループ名	空	グループ名は必須です。
	半角数字 以外の値	半角数字で入力してください。

6.5.3. グループの保存

NFM 利用者 登録/更新ダイアログのグループ#1~#5 およびその他項目に必要な値を入力したのち、「保存する」ボタンを押下すると保存されます。

※NFM 利用者を、選択したグループのグループ管理者に設定する場合は、管理者チェックボックスにチェックを入れます。

NFM 利用者一覧画面（登録/更新ダイアログ）

①設定するボタンを押下してグループを選択する

②グループ管理者にする場合はチェック

③保存するボタンを押下

6.5.4. グループに関する設定の権限

NFM 利用者に設定しているグループを変更する場合、ログインしているユーザーの権限によって設定できる内容に制限があります。

グループに関する設定の制限

権限	設定対象	設定できる範囲
システム管理者	NFM 利用者	すべての NFM 利用者に対して設定可能です。
	グループ	すべてのグループを設定可能です。
	グループ管理者	すべての NFM 利用者に対して設定可能です。
グループ管理者	NFM 利用者	自分がグループ管理者になっているグループ内の NFM 利用者（自分を除く）、および異動中に設定されている NFM 利用者に対して設定可能です。
	グループ	自分がグループ管理者になっているグループ、移動中、未設定を設定可能です。 グループの新規登録はできません。
	グループ管理者	設定できません。
一般ユーザー	NFM 利用者	設定できません。 (NFM 利用者一覧を使用できません。)
	グループ	設定できません。 (NFM 利用者一覧を使用できません。)
	グループ管理者	設定できません。 (NFM 利用者一覧を使用できません。)

7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

7.1. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

NFM 利用者情報一覧出力機能を使用して、ユーザー情報の一覧をファイル出力可能です。

メニューエリアから「インポート/エクスポート」を押下し、続いて「NFM 利用者一覧の出力」を押下し、NFM 利用者一覧の出力画面を表示します。

「出力する」ボタンを押下すると出力を開始します。

※登録されているすべての NFM 利用者が出力されます。

NFM 利用者一覧の出力画面



項目レイアウト

項目名	出力内容
削除	固定値 ""
NFM 利用者 ID (メールアドレス)	登録されている NFM 利用者 ID (メールアドレス)
パスワード	パスワードが登録されているとき"YES"、登録されていないとき"NO"
NFM 利用者 (姓)	登録されている NFM 利用者の姓
NFM 利用者 (ミドルネーム)	登録されている NFM 利用者のミドルネーム

7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

NFM 利用者 (名)	登録されている NFM 利用者の名
表示画像	顔画像が登録されているとき"YES"、登録されていないとき"NO"
学習画像	顔画像が登録されているとき"YES"、登録されていないとき"NO"
代行入力機能使用有無 FL	アプリログイン代行認証が許可されているとき"1"、許可されていないとき"0"
認証方式 FL	認証無し(シングルサインオン)のとき"0"、顔認証のとき"1"、顔+パスワード認証のとき"2"
認証失敗時操作 FL	ログイン画面認証のとき"0"、再認証のとき"1"
管理者	NFM 利用者をシステム管理者に設定するとき"1"、設定しないときは"0"
グループ ID1	登録されているグループ ID
グループ名 1	登録されているグループ名
グループ管理者 FL1	NFM 利用者をグループ管理者に設定するとき"1"、設定しないときは"0"

:

:

グループ ID5	グループ ID 1 と同様
グループ名 5	グループ名 1 と同様
グループ管理者 FL5	グループ管理者 FL 1 と同様
Windows アカウント名 1	ローカル Windows アカウント FL1 が"0"または"1"の場合は、登録されている Windows アカウント名 ローカル Windows アカウント FL1 が"2"の場合は、登録されている表示名
コンピュータ名またはドメイン名 1	ローカル Windows アカウント FL1 が"1"の場合は、登録されている Windows アカウントのログオン先のコンピュータ名

7. NFM 利用者情報の一覧ファイル出力

	ローカル Windows アカウント FL1 が“0”の場合は、登録されている Windows アカウントのログオン先のドメイン名 ローカル Windows アカウント FL1 が“2”の場合は、登録されている Azure AD アカウントのログオン先の Azure AD ドメイン名
ユーザプリンシパル名 1	登録されているユーザプリンシパル名 ※ローカル Windows アカウント FL1 が“2”の場合のみ値が表示されます
ローカル Windows アカウント FL1	登録されている Windows アカウントがドメインアカウントのとき“0”、ローカル Windows アカウントのとき“1”、Azure AD ドメインアカウントのとき“2”
Windows パスワード 1	パスワードが登録されているとき“YES”、登録されていないとき“NO” ローカル Windows アカウント FL1 が“0”または“1”の場合は、Windows パスワード ローカル Windows アカウント FL1 が“2”の場合は、Azure AD パスワード

:

:

Windows アカウント名 5	Windows アカウント名 1 と同様
コンピュータ名またはドメイン名 5	コンピュータ名またはドメイン名 1 と同様
ユーザプリンシパル名 5	ユーザプリンシパル名 1 と同様
ローカル Windows アカウント FL5	ローカル Windows アカウント FL1 と同様
Windows パスワード 5	Windows パスワード 1 と同様

※グループ情報は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで出力されます。

※Windows アカウント情報は NFM 利用者 1 名につき最大 5 件まで出力されます。

8. 認証ログの確認

8.1. 認証ログの検索

ログビューアを使用して、顔認証の利用状況を確認可能です。

メニューエリアから「ログビューア」を押下し、認証ログ検索画面を表示します。
検索条件を入力して「検索」ボタンを押下します。

認証ログの保存期間は3か月間となります。順次古いログから削除されますので
必要に応じてCSV出力のうえ保管ください。その際顔画像ログは出力されません。

認証ログ検索画面

認証ログの検索条件

項目名	検索内容
認証日時	検索範囲の日時を FROM~TO で指定します。
認証結果	検索する認証結果の値を選択します。
エラーコード	検索するエラーコードの値を選択します。 ※認証エラーコードは、「8.4. 認証エラーコード一覧」をご参照ください。
認証手段	検索する認証手段の値を選択します。
認証場面	検索する認証場面の値をチェックします。

Windows アカウント名	検索する Windows アカウント名の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
ドメイン名	検索するドメイン名の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
ユーザプリンシパル名	検索するユーザプリンシパル名の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
認証端末名	検索する認証端末の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)
サービスプロバイダーの URL	検索するサービスプロバイダー URL の値を指定します。 (前方一致にチェックすると値の先頭から比較します)

8.2. 認証ログの一覧表示

認証ログ検索画面にて「検索」ボタンを押下すると、該当する認証ログの一覧が表示されます。

認証ログの一覧画面



項目名	設定内容
CSV出力ボタン	検索結果の一覧をファイル出力します。
検索結果件数	検索結果の行数です。
検索結果一覧	検索結果の一覧です。認証日時を押下するとその行について詳細画面を表示します。
ページング	一覧の表示しているページを切替えます。
戻るボタン	検索条件画面に戻ります。

認証ログの一覧表示の項目

項目名	表示内容
認証日時	認証を行った日時です。押下するとその行について詳細画面を表示します。
認証結果	認証を行った結果です。
認証手段	認証を行った手段です。
Windows アカウント名	認証を行った Windows アカウント名です。
ドメイン名	認証を行ったドメイン名です。
ユーザプリンシパル名	認証を行ったユーザプリンシパル名です。
認証端末名	認証を行った端末です。
NFM 利用者 ID (メールアドレス)	認証を行った NFM 利用者 ID (メールアドレス) です。
認証場面	認証を行った場面です。
サービスプロバイダーの URL	認証を行ったサービスプロバイダーの URL です。
エラーコード	認証エラーのエラーコードです。 ※認証エラーコードは、「8.4. 認証エラーコード一覧」をご参照ください。
顔画像	認証を行ったときの顔画像の有無を表示します。

8.3. 認証ログの詳細表示

認証ログの一覧画面にて、認証ログの1つを押下すると、認証ログ詳細画面が表示されます。

認証ログ詳細画面



認証ログの詳細項目

項目名	表示内容
顔画像	認証を行ったときの顔画像です。 ※「顔画像ログ出力ポリシー」で設定した場合のみ顔画像が登録されます。
認証日時	認証を行った日時です。
認証結果	認証を行った結果です。
認証手段	認証を行った手段です。
Windows アカウント名	認証を行った Windows アカウント名です。
ドメイン名	認証を行ったドメイン名です。
ユーザプリンシパル名	認証を行ったユーザプリンシパル名です。

8. 認証ログの確認

認証端末名	認証を行った端末です。
NFM 利用者 ID (メールアドレス)	認証を行った NFM 利用者 ID (メールアドレス) です。
認証場面	認証を行った場面です。
サービスプロバイダーの URL	認証を行ったサービスプロバイダーの URL です。
エラーコード	認証エラーのエラーコードです。 ※認証エラーコードは、「8.4. 認証エラーコード一覧」をご参照ください。
戻るボタン	押下すると一覧画面に戻ります。

8.4. 認証エラーコード一覧

エラーコード	対処方法
6A	Windows 認証に失敗しました。 NFM 利用者の登録で登録した Windows アカウントが正しく登録されていることを確認してください。
71	カメラが接続されていないか、利用できない状態です。 カメラが正しく使えるか確認してください。
72	異常が発生しました。 OS を再起動してください。 同じ症状が繰り返される場合は NFM クライアントソフトを最新版に更新するか、再インストールしてください。
74	他アプリケーションによるカメラ占有が発生しているため、常時認証が使用できません。 カメラを使用している他アプリケーションを停止することで、常時認証が使用可能になります。
75	自動ロック解除が失敗しました。 NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアルの「7.9. NFM 以外のアプリケーションのカメラ使用時の注意」を参照し、自動ロック解除が可能となるようクライアント端末の設定を行ってください。
83、84、A3、A4	顔認証に失敗しました。 一定時間内に画面に指示されたとおりの顔の動きを実施してください。
8B、8C、8F、90、D8	顔認証に失敗しました。 顔画像が正しく登録されていることを確認してください。 同じ症状が繰り返される場合は、顔画像を削除した後、再度登録し直してください。
93、94、9F	顔認証に失敗しました。 顔画像が正しく登録されていることを確認してください。また、一定時間内に画面に指示されたとおりの顔の動きを実施してください。 同じ症状が繰り返される場合は、顔画像を削除した後、再度登録し直してください。
97、98、9B、9C、A7、A8	顔画像を検出できませんでした。 もっとカメラに近づいてください。
C8、C9、CA、CB、CC、CD	認証に失敗しました。 テナント、NFM 利用者 ID (メールアドレス)、パスワードが正しく入力されていることを確認してください。
CE、CF、D0、D1、D2、D3、D4、D5、D6、D7	代替認証処理に失敗しました。 代替認証コードが正しく入力されていることを確認してください。

	同じ症状が繰り返される場合は、代替認証コードを再度登録し直してください。
--	--------------------------------------

9. システム設定

9.1. Windows ログオン認証方式の設定

Windows ログオン時・Windows ロック解除時の認証方式の設定を行います。
(当画面の設定は Windows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「Windows ログオン認証方式」を押下し、Windows ログオン認証方式の設定画面を表示します。

Windows ログオン認証方式の設定画面（初期状態）

The screenshot shows the 'Windows Logon Authentication Method' settings page. The left sidebar contains navigation options like 'NFM User Management', 'Log View', 'Settings', and 'User Information Management'. The main content area is titled 'Windows Logon Authentication Method' and contains two sections, 'Authentication Method 1' and 'Authentication Method 2'. Each section has a 'Windows Logon Time' header, a 'Authentication Method' section with radio buttons for 'Face Recognition Only', 'Face Recognition + Windows Password', and 'Windows Password Only', and a 'Notification' dropdown menu set to 'None'. The 'Authentication Method 2' section is currently hidden.

「認証方式 2 を有効にする」チェックボックスをチェックすると、認証方式 2 と切り替え方法の入力項目が表示されます。

Windows ログオン認証方式の設定画面（認証方式 2 を表示）

This screenshot shows the same settings page but with 'Authentication Method 2' expanded. A yellow callout box on the left points to the 'Enable Authentication Method 2' checkbox, with the text '① 認証方式 2 を有効にする をチェックする'. Another yellow callout box on the right points to the expanded settings for Method 2, with the text '② 認証方式 2 の詳細が表示される'. The expanded settings include a 'Authentication Method' section with radio buttons, a 'Notification' dropdown, and a 'Switch Command Settings' section with four rows of dropdown menus for 'Switch Command 1' through 'Switch Command 4'. The first row is pre-filled with 'Ctrl', 'Alt', and 'Shift', while the others are set to '未選択' (Unselected).

Windows ログオン認証方式の設定項目（認証方式 1、2 共通）

項目名	設定内容
Windows ログオン時 認証手段	Windows ログオン時に利用する認証手段を設定します。
Windows ログオン時 顔動き検知	NFM 認証の前に、ユーザーに意識的な動きのパターンを指示する機能を設定します。
Windows ロック解除時 認証手段	Windows ロック解除時に利用する認証手段を設定します。
Windows ロック解除時 顔動き検知	NFM 認証の前に、ユーザーに意識的な動きのパターンを指示する機能を設定します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

※パスワードを伴わない認証手段でも Windows アカウントの Windows パスワードが設定されている必要があります。

顔動き検知パターン（認証方式 1、2 共通）

顔動き検知の設定	顔動き検知の回数
なし	0 回
まばたき	1 回
まばたき/視線右/視線左/顔振りのうち 1 回	1 回
まばたき/視線右/視線左のうち 2 回	2 回
まばたき/視線右/視線左/顔振りのうち 3 回	3 回

設定したパターンの中から、顔動き検知の回数分ランダムに実施されます。

認証方式 1 <-> 認証方式 2 切替コマンドの設定

項目名	設定内容
切替コマンド 1 の設定	キーの組み合わせを選択します。 (未選択状態にできません。)
切替コマンド 2 の設定	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンド 3 の設定	キーの組み合わせを選択します。

切替コマンド4の設定	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンドの5設定	キーの組み合わせを選択します。

切替コマンドのチェック

チェック内容	エラーメッセージ
コマンドにて、1つ、または2つキーを選択している場合	切替コマンドが正しく設定されていません。
切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	切替コマンドに重複している設定があります。
Windows ログオン認証ポリシーの切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	Windows ログオン認証ポリシーの切替コマンドと重複している設定があります。

9.2. Windows ログオン認証ポリシーの設定

Windows ログオン時・Windows ロック解除時の認証ポリシーの設定を行います。
(当画面の設定はWindows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「Windows ログオン認証ポリシー」を押下し、Windows ログオン認証ポリシーの設定画面を表示します。

Windows ログオン認証ポリシーの設定画面



Windows ログオン認証ポリシーの設定項目

項目名	設定内容
学習画像の自動更新周期	学習画像を自動更新する周期を設定します。
代替認証 (Windows ログオン認証)	代替認証 (認証手段で設定) の有効/無効を設定します。
認証手段 ※代替認証 (Windows ログオン認証) が「有効」の場合のみ入力可	代替認証 (Windows ログオン認証) 時に使用する認証手段を設定します。
入力失敗許容回数 ※認証手段が「ワンタイムパスワード」の場合のみ入力可	入力失敗を許容する回数を選択します。
ログオン可能回数 ※認証手段が「ワンタイムパスワード」の場合のみ入力可	ログオン可能とする回数を選択します。
切替コマンド1の設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。 (未選択状態にできません。)
切替コマンド2の設定	キーの組み合わせを選択します。

※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	
切替コマンド3の設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンド4の設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。
切替コマンドの5設定 ※認証手段が「パスワード」の場合のみ入力可	キーの組み合わせを選択します。

切替コマンドのチェック

チェック内容	エラーメッセージ
コマンドにて、1つ、または2つキーを選択している場合	切替コマンドが正しく設定されていません。
切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	切替コマンドに重複している設定があります。
Windows ログオン認証方式の切替コマンドの組み合わせに重複が存在する場合	Windows ログオン認証方式の切替コマンドと重複している設定があります。

9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定

Windows ログオン認証ポリシーの設定画面で、代替認証（Windows ログオン認証）を有効に設定すると、認証手段として「パスワード」「ワンタイムパスワード」が選択できます。

「ワンタイムパスワード」を選択して保存すると、サイドメニューに「ワンタイムパスワード発行」が表示されます。

ワンタイムパスワードの切替コマンドは、認証手段が「パスワード」の場合に設定されている切り替えコマンドが有効となります。

※ワンタイムパスワード発行画面については、「14. ワンタイムパスワードの利用」をご参照ください。

Windows ログオン認証ポリシーの設定画面（ワンタイムパスワード）

The screenshot shows the 'Windowsログオン認証ポリシー' configuration page. The '代替認証 (Windows ログオン認証)' is set to '有効'. The '認証手段' dropdown menu is set to 'ワンタイムパスワード'. A '確定' button is visible at the bottom right. Callouts are placed over the interface to guide the user through the steps.

Windows ログオン認証ポリシーの設定画面（サイドメニューの表示）

This screenshot shows the same settings page, but with the '設定' (Settings) sidebar expanded. The 'ワンタイムパスワード発行' option is now visible in the sidebar menu. A callout points to this option, indicating that it appears after the policy is saved.

9.3. 常時認証ポリシーの設定

常時認証に関するポリシーの設定を行います。
(当画面の設定は Windows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「常時認証ポリシー」を押下し、常時認証ポリシーの設定画面を表示します。

常時認証ポリシーの設定画面

常時認証ポリシーの設定項目

項目名	設定内容
常時認証有効/無効	常時認証の有効/無効を設定します。
常時認証の周期	常時認証を行う間隔（秒）を設定します。
認証時間	常時認証を行う時間（秒）を設定します。この時間内に認証が成功しないと画面ロックになります。
認証失敗許容回数	常時認証で顔認証に失敗したときの許容回数を設定します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

常時認証ポリシーの設定項目入力値チェック（自由入力値）

項目名	入力値	エラーメッセージ
常時認証の周期	空	自由設定が入力されていません。
	60 未満、 1000 以上	自由設定は 60~999 の範囲で入力してください。
	半角数字 以外の値	半角数字で入力してください。
認証時間	空	自由設定が入力されていません。
	1 未満、 1000 以上	自由設定は 1~999 の範囲で入力してください。
	半角数字 以外の値	半角数字で入力してください。
認証失敗許容回数	空	自由設定が入力されていません。
	0 未満、 1000 以上	自由設定は 0~999 の範囲で入力してください。
	半角数字 以外の値	半角数字で入力してください。

9.4. 顔画像ログ出力ポリシーの設定

Windows ログオン・Windows ロック解除時、常時認証時のログ出力を設定します。
 (当画面の設定は Windows 端末向けの設定です。)

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「顔画像ログ出力ポリシー」を押下し、顔画像ログ出力ポリシー（顔認証失敗時）の設定画面を表示します。

顔画像ログ出力ポリシー（顔認証失敗時）の設定画面



顔画像ログ出力ポリシーの設定項目

項目名	設定内容
Windows ログオン・Windows ロック解除	チェックすると Windows ログオン・Windows ロック解除の顔認証失敗時にログを出力します。
常時認証 顔認証失敗	チェックすると 常時認証の顔認証失敗時にログを出力します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

9.5. AzureAD 設定の設定

AzureAD へアクセスする際の認証情報の設定を行います。

メニューエリアから「設定」を押下し、続いて「AzureAD 設定」を押下し、AzureAD 設定の設定画面を表示します。

AzureAD 設定の設定画面

AzureAD 設定の設定項目

項目名	設定内容
AzureAD テナント ID	AzureAD で発行されたテナント ID を設定します。
アプリケーション ID	AzureAD で発行されたアプリケーション ID を設定します。
元に戻すボタン	押下すると初期表示時の値に戻ります。
確定ボタン	押下すると入力内容を保存します。

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

AzureAD 設定の設定項目入力値チェック（自由入力値）

項目名	入力値	エラーメッセージ
AzureAD テナント ID	空	AzureAD テナント ID が入力されていません。
	257 文字以上	AzureAD テナント ID は 256 文字以内で入力してください。
	半角数字 記号以外の 値	AzureAD テナント ID は半角英数字、記号しか利用できません。
アプリケーション ID	空	アプリケーション ID が入力されていません。
	257 文字以上	アプリケーション ID は 256 文字以内で入力してください。
	半角数字 記号以外の 値	アプリケーション ID は半角英数字、記号しか利用できません。

10. ライセンスキー管理

本章では、購入したライセンスキーの管理方法について説明します。

10.1. ライセンスキー型番種別

ライセンスキーには、以下の型番種別が存在します。

ライセンスキー型番種別

種別名	内容	利用期限	利用可能 ID 数
無償利用	無償利用のライセンスキーです。 利用期限は2か月固定となります。 テナントを登録した際に自動発行されます。	あり (2か月)	100名
クラウド SW ストア型番	NECのWebストア(クラウドSWストア)からオンライン購入するライセンスキーです。 自動課金による利用となるため、利用期限はありません。	なし	1名 10名 100名 1000名
パック型番	クラウドSWストアの販売に対応できない販売店(代理店)に販売するライセンスキーです。 利用期限が存在し、期限を超過するとライセンスキーは無効となります。	あり (1~12か月)	1名 10名 100名 1000名

10.2. ライセンスキー一覧

テナントに登録されているライセンスキーの管理を行います。

メニューエリアから「ライセンスキー管理」を押下し、ライセンスキー管理(一覧)画面を表示します。初期状態では、テナント申し込み時に発行された無償利用ライセンスが1件表示されます。

ライセンスキー管理 (一覧) 画面

The screenshot shows the 'NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル' interface. The main content area is titled 'ライセンスキー管理'. It features a table with columns for '型番' (Model No.), '製品名' (Product Name), '利用可能ID数' (Available ID Count), '利用開始' (Start Date), and '利用期限' (Expiration Date). Below the table is a summary box with '利用可能ID数の合計' (Total Available ID Count: 100), '現在利用中のID数' (Current Used ID Count: 8), and '残ID数' (Remaining ID Count: 92). Callout boxes point to: '追加するボタン' (Add button), '期限切れライセンスキーを表示するチェックボックス' (Check box to show expired license keys), 'ライセンスキー一覧' (License Key List), '延長するボタン' (Extend button), and '利用可能 ID 情報エリア' (Available ID Information Area).

項目レイアウト

項目名	出力内容	
期限切れライセンスキーを表示するチェックボックス	チェックを入れると、期限切れまたは無効となったライセンスキーを表示します。	
追加するボタン	ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログを表示します。	
ライセンスキー一覧	ライセンスキーの一覧を表示します。	
延長するボタン	ライセンスキー入力（延長登録）ダイアログを表示します。 パック型番のライセンスキーにのみ表示されます。	
利用可能 ID 情報エリア	利用可能 ID 数の合計	現在の利用可能 ID 数の合計です。
	現在利用中の ID 数	現在テナント内で顔認証を利用している利用者数、および外部システム連携の利用者情報連携フィルタに登録されている利用者数の合算です。 ※顔認証利用＝顔画像登録した利用者となります。

		※外部システム連携については「12. 外部システム連携」をご覧ください
	残 ID 数	利用可能 ID 数の合計から、現在利用中の ID 数を差し引いた ID 数です。

10.2.1. ライセンスキー一覧の項目

ライセンスキー管理（一覧）画面

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NeoFace Monitor 管理ポータル ポータル ドットコム タロウ

ライセンスキー管理 期限切れライセンスキーを表示する [+ 追加する](#)

型番	製品名	利用可能ID数	利用開始	利用期限	
UWHT01Y-H0055-I	NeoFace Monitor クラウド版 (10名12ヶ月利用権)	10	2024年2月1日	2025年1月31日	▶▶ 延長する
	NeoFace Monitor クラウド版 (無償利用)		2023年12月1日	2024年1月31日	

利用可能ID数の合計 100

現在利用中のID数 8

残りID数 92

一覧表示の項目

項目名	表示内容
型番	型番です。
製品名	製品名です。
利用可能 ID 数	利用可能 ID 数です。
利用開始	利用開始した日付です。
利用期限	利用期限の日付です。 クラウド SW ストア型番の場合は「なし」と表示されま す。
延長するボタン	ライセンスキー入力（延長登録）ダイアログを表示しま す。 パック型番のライセンスキーにのみ表示されます。

10.3. ライセンスキー入力（追加登録）

ライセンスキーの追加登録を行います。
ライセンスキーを追加登録する場合、以下の制限があります。

利用可能 ID 数	初回登録時は 10 人以上、2 回目以降は制限なし (パック型番、クラウド SW ストア型番共通)
パック型番の期間	12 か月 (クラウド SW ストア型番は対象外)

ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログ



項目レイアウト

項目名	出力内容
ライセンスキー入力欄	ライセンスキーを入力します。 ライセンスキーは複数行の入力が可能です。
追加するボタン	入力したライセンスキーを登録対象に追加します。 ライセンスキーを追加後、ライセンスキー入力エリアの下にライセンスキー詳細エリアが表示されます。
キャンセルボタン	ダイアログを閉じます。
登録するボタン	追加したライセンスキーを登録します。

ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログ（ライセンスキー追加後）



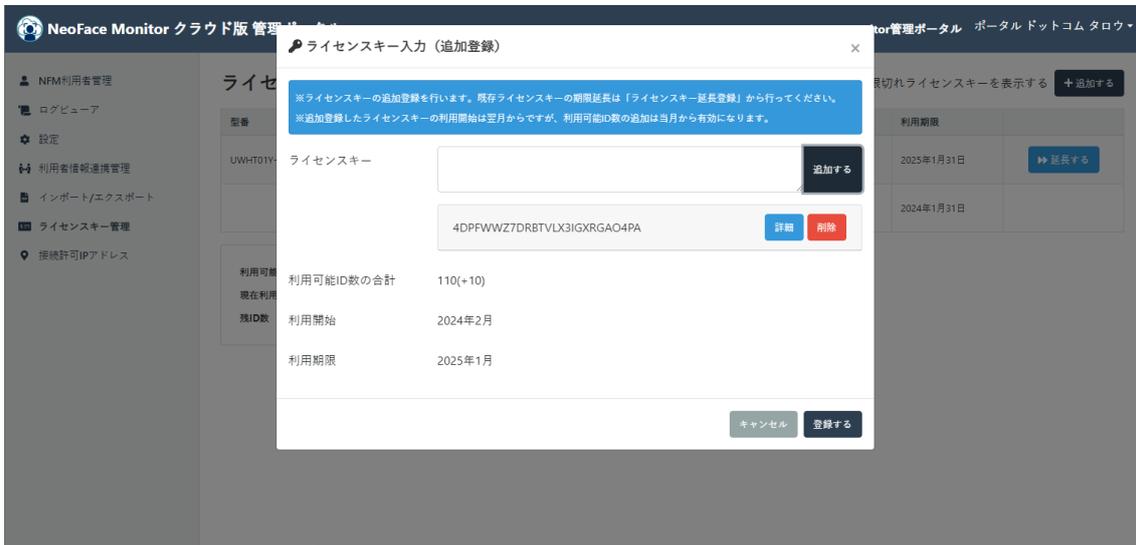
項目レイアウト

項目名	出力内容
詳細ボタン	追加したライセンスキーの詳細を表示します。
削除ボタン	追加したライセンスキーを削除します。

※無償利用期間中にライセンスキーの登録を行った場合、無償利用期間が終了するまで、ライセンスキー一覧の利用可能 ID 数の合計の値に反映されません。

10.3.1. ライセンスキー入力（追加登録）項目

ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログ



表示項目

項目名	表示内容
型番	追加したライセンスキーの型番です。
製品名	追加したライセンスキーの製品名です。
利用可能 ID 数	追加したライセンスキーの利用可能 ID 数です。 カッコ内はライセンスキー追加により増加する利用可能 ID 数です。
パック型番の期間（か月）	追加したライセンスキーのパック型番の期間です。 クラウド SW ストア型番の場合は空欄になります。
利用開始	追加したライセンスの利用開始日付（年月）です。
利用期限	追加したライセンスの利用期限日付（年月）です。

10.3.2. ライセンスキー入力（追加登録）の設定項目入力値チェック

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
ライセンスキー	空	ライセンスキーが入力されていません。
	文字数	ライセンスキーは 100 文字以内で入力してください。
	文字種	ライセンスキーは半角英数字、記号しか利用できません。
	パック型番とクラウド SW ストア型番のライセンスキーが混在	追加するライセンスキーに異なる型番種別が混在しています。
	パック型番の期間が 11 か月以下	追加するライセンスキーのパック型番の期間は、12 か月としてください。
	追加した利用可能 ID 数の合計が 9 人以下	追加するライセンスキーの利用可能 ID 数の合計は、10 人以上としてください。
	存在しないライセンスキー	ライセンスキーは存在しません。
	他テナントで登録済みのライセンスキー	ライセンスキーは登録済みです。
	ダイアログに追加済みのライセンスキー	ライセンスキーが重複しています。

10.3.3. ライセンス登録完了のお知らせ

ライセンスキーの追加登録（または、ライセンスキーの延長登録）が完了した場合、テナントのシステム管理者全員にライセンス登録完了のお知らせメールが届きます。

ライセンス登録完了のお知らせメール

（件名：NeoFace Monitor クラウド版ライセンス登録完了のお知らせ）

<システム管理者名> 様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

ご利用中のテナントでのライセンス登録を受け付けました。

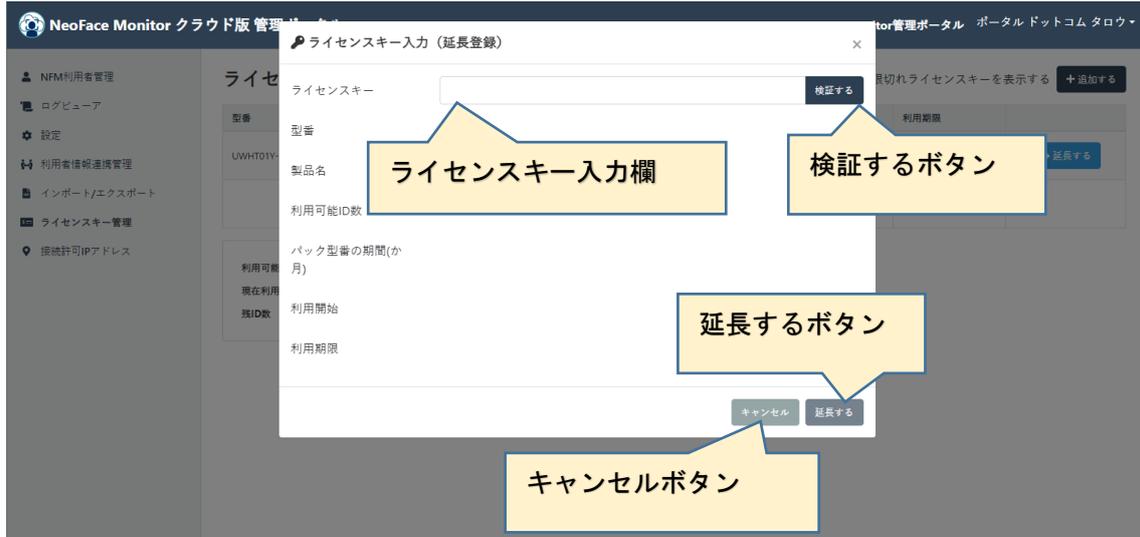
<型番> : <ライセンスキー> : <人数>名分 YYYY/MM/DD まで

10.4. ライセンスキー入力（延長登録）

ライセンスキーの延長登録を行います。
ライセンスキーを延長登録する場合、以下の制限があります。

型番種別	パック型番であること
利用可能 ID 数	延長するライセンスキーの利用可能 ID 数と同じであること

ライセンスキー入力（延長登録）ダイアログ



項目レイアウト

項目名	出力内容
ライセンスキー入力欄	ライセンスキーを入力します。
検証するボタン	ライセンスキーの検証を行います。
キャンセルボタン	ダイアログを閉じます。
延長するボタン	当該ライセンスキーを延長します。

10.4.1. ライセンスキー入力（延長登録）項目

ライセンスキー入力（延長登録）ダイアログ



表示項目

項目名	表示内容
型番	ライセンスキーの型番です。
製品名	ライセンスキーの製品名です。
利用可能 ID 数	ライセンスキーの利用可能 ID 数です。
パック型番の期間（か月）	ライセンスキーのパック型番の期間です。
利用開始	ライセンスの利用開始日付（年月）です。
利用期限	ライセンスの利用期限日付（年月）です。

10.4.2. ライセンスキー入力（延長登録）の設定項目入力値チェック

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
ライセンスキー	空	ライセンスキーが入力されていません。
	文字数	ライセンスキーは 100 文字以内で入力してください。
	文字種	ライセンスキーは半角英数字、記号しか利用できません。
	パック型番以外のライセンスキー	パック型番のライセンスキーを入力してください。
	利用可能 ID 数が異なる	利用可能 ID 数が延長するライセンスキーと異なります。
	存在しないライセンスキー	ライセンスキーは存在しません。
	他テナントで登録済みのライセンスキー	ライセンスキーは登録済みです。

10.5. 利用可能 ID 数の超過による利用者の削除について

利用中のライセンスキーが下記条件に合致した場合、ライセンスキーが無効となります。

クラウド SW ストア型番	ライセンスキーの無効化操作が行われた
パック型番	ライセンスキーの利用期限を超過した

その際、顔認証を利用中の利用者数が、ライセンスキーの利用可能 ID 数の合計を超過した状態が発生します（以降、「利用可能 ID 超過状態」と表記します）。

ライセンスキー管理（一覧）画面（利用可能 ID 超過状態）

利用可能 ID 超過状態が発生した場合、本サービスでは月次処理にて、以下の条件で超過した ID 数分、『利用者の顔画像』の自動削除を行います。

対象	顔認証を利用中の利用者
順序	登録日時が若い順（直前に登録した利用者）

自動削除を回避する場合は、以下のご対応をお願いします。

- ・ライセンスキーの追加登録、延長登録で利用可能 ID 数が超過しないようにする
- ・顔認証を利用していない利用者の顔画像を削除し、利用可能 ID 超過状態が発生しないよう調整する

※顔画像を登録している利用者の検索については「6.1.1. NFM 利用者の検索条件」をご覧ください。

10.6. ライセンス利用期間の終了日のお知らせ

登録されているパック型番ライセンスの利用期間終了日の 90 日前、30 日前、20 日前、10 日目のタイミングで、テナントのシステム管理者全員にライセンス利用期間終了のお知らせメールが届きます。

有償ライセンスを延長登録される場合は、「10.4. ライセンスキー入力（延長登録）」をご参照ください。

ライセンス利用期間の終了日のお知らせメール

（件名：NeoFace Monitor クラウド版ライセンス期間に関するお知らせ）

<システム管理者名> 様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

現在ご利用中のパック型番ライセンスは下記の通りです。

<型番>：<ライセンスキー>：<人数>名分 YYYY/MM/DD まで

<型番>：<ライセンスキー>：<人数>名分 YYYY/MM/DD まで

ライセンスの利用期間が終了し、利用可能 ID 数が超過状態になると、超過した ID 数分だけ利用者の顔画像が削除され、顔認証が利用できなくなる場合があります。

詳しくは『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「利用可能 ID 数の超過による利用者の削除について」をご覧ください。

顔認証の継続利用を行わない利用者の情報は削除をお願いします。

ライセンスをご購入いただいた販売店様または NEC 営業までご連絡ください。

10.7. ライセンス利用期間終了のお知らせ

ライセンス利用期間の終了日の翌日に利用期間内の有償ライセンスの登録がない場合、テナントのシステム管理者全員にライセンス利用期間の終了のお知らせメールが届きます。

ライセンス利用期限終了のお知らせメール

(件名：NeoFace Monitor クラウド版ライセンス期間終了のお知らせ)

<システム管理者名> 様

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございます。

パック型番ライセンス利用期間は YYYY/MM/DD (利用期間の終了日) をもって終了したため、登録された顔画像をすべて削除いたしました。

お申し込みいただいたテナントは YYYY/MM/DD (テナント削除日) まで有効ですのでそれまでにライセンスをご購入・ご登録いただき、顔画像を再登録いただければ引き続き正式サービスとしてご利用いただけます。

引き続きご利用をご希望の場合は、『NeoFace Monitor クラウド版 運用管理マニュアル』の「ライセンスの購入・登録」に沿って、ご対応をお願いします。

11. テナント削除

11.1. テナント削除のお知らせ

ライセンス利用期間終了から1か月以内に有償ライセンスの登録がなかったテナントを削除します。テナント削除後にテナントのシステム管理者全員にテナント削除のお知らせメールが届きます。

テナント削除のお知らせメール

(件名: NoeFace Monitor クラウド版テナント削除のお知らせ)

<システム管理者名> 様

NeoFace Monitor クラウド版にお申し込みいただいたテナントを削除しました。

NeoFace Monitor クラウド版をご利用いただきありがとうございました。

12. 外部システム連携

本章では、NeoFace Monitor クラウド版と外部システムとの利用者情報の連携機能について説明します。

12.1. 外部システムとの連携機能

NeoFace Monitor クラウド版には以下の外部システムとの連携機能があります。

- ・「Bio-IDiom Services for SaaS」
- ・「Bio-IDiom Services ID 連携」

NeoFace Monitor クラウド版で登録された NFM 利用者情報と顔画像をこれらの外部システムに連携することが可能です。また、これらの外部システムで登録された利用者情報と顔画像を NeoFace Monitor クラウド版に連携することが可能です。

「Bio-IDiom Services for SaaS」および「Bio-IDiom Services ID 連携」の連携はどちらか片方のみ可能で、これらを併用することはできません。

12.2. 連携機能のご利用にあたって

「Bio-IDiom Services ID 連携」の外部連携を利用する場合は、弊社営業までお問い合わせください。

お問合せいただいた後に弊社内で連携設定を実施し、設定完了後に申し込み者へ NeoFace Monitor クラウド版のテナントの利用が開始できるようになった旨をメールでお知らせします。

上記メールを受信後、連携の対象となる NFM 利用者を設定する手順を開始してください。

(※別章「12.4. 連携の対象となる NFM 利用者を設定」を参照)

すでに「Bio-IDiom Services for SaaS」を利用中で、NeoFace Monitor クラウド版との連携を行う場合は弊社内での接続設定が必要ですので弊社営業までお問合せください。

12.3. 個人情報の取り扱いについて

NeoFace Monitor クラウド版で顔画像（表示画像）が登録されている利用者は、外部システム連携の対象となります。

外部システム連携との連携に関して、事前にシステム管理者から各 NFM 利用者に対して氏名などの個人情報とあわせて顔画像を連携することの同意を取得し、利用者情報連携フィルタの初回登録時に個人情報の取り扱いの同意を行ってください。

(※別章「12.4.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録」を参照)

12.4. 連携の対象となる NFM 利用者を設定

NeoFace Monitor クラウド版のテナントの利用が開始できるようになった旨のメールを受信後、テナント申し込み者またはシステム管理者にて、連携の対象となる NFM 利用者の設定を下記の手順で実施してください。

外部システムから利用者を連携したいとき、一括同期が完了済みの場合、外部システムに利用者を登録した後に、利用者情報連携フィルタを登録すると、その利用者が連携対象にならない可能性があります。先に利用者情報連携フィルタの登録を実施してください。

1. 利用者情報連携フィルタの登録

(※別章「12.4.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録」を参照)

連携の対象となる NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録します。初回登録時に個人情報の取り扱いの同意を行ってください。

NFM 利用者の登録は、1 件ずつ登録または CSV ファイルによるインポートが可能です。



2. 利用者情報一括同期の実施

(※別章「12.4.9. 利用者情報一括同期」を参照)

本サービスを契約したとき、すでに外部システムに利用者が登録済みの場合、利用者情報一括同期で NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者として同期を行うことが可能です。

※「Bio-IDiom Services ID 連携」と連携する場合があります。

※「Bio-IDiom Services for SaaS」と連携する場合は契約時に同期を実施します。



(※「Bio-IDiom Services for SaaS」「Bio-IDiom Services ID 連携」共通)

以降は自動的に外部システムの利用者情報 ↔ NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者情報の連携が行われます。

12.4.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録

連携の対象となる NFM 利用者の NFM 利用者 ID を利用者情報連携フィルタに登録します。外部システムに登録されている利用者情報のうち、顔画像が登録されている利用者情報を連携の対象とすることができます。

NFM 利用者 ID と同じ値をメンバー情報のユーザ ID に設定し、かつ NFM 利用者 ID を利用者情報連携フィルタに登録すると連携の対象となります。

テナント利用開始直後の初期状態では、登録されている NFM 利用者 ID はありません。連携を行う対象の NFM 利用者 ID を追加してください。

利用者情報連携フィルタ管理画面（初期状態の例）



※NeoFace Monitor クラウド版で顔画像（表示画像）が登録された NFM 利用者の NFM 利用者 ID は自動的に利用者情報連携フィルタに登録されます。

※最初の利用者情報連携フィルタの登録よりも先に NFM 利用者に顔画像を登録した場合には、利用者情報連携フィルタ管理画面を初めて表示したときに、顔画像を登録した NFM 利用者の NFM 利用者 ID が登録されており、外部システムにも同じ値を ID 項目に持つ利用者および顔画像が登録されています。

※NeoFace Monitor クラウド版は利用者毎の期限切れはないため、利用者情報連携フィルタに登録された NFM 利用者は、外部システムにおける有効期限と関係なく、NeoFace Monitor クラウド版ではご利用いただける状態になります。必要に応じて、利用者情報連携フィルタおよび NeoFace Monitor クラウド版から NFM 利用者を削除してください。

12.4.2. 個人情報の取り扱いの同意

利用者情報連携フィルタに NFM 利用者 ID が 1 件も登録されていない場合、個人情報の取り扱いに関する説明が表示されます。

利用者情報連携フィルタ管理画面（個人情報の取り扱いに関する説明）



※個人情報の取り扱いに関する説明を読み、「同意する」ボタンを押下してください。

12.4.3. NFM 利用者の追加

必要な項目を入力し、「保存する」ボタンを押下してください。

利用者情報連携フィルタ管理画面（NFM 利用者 ID 追加ダイアログの表示）



フィルタ情報

入力項目	説明
NFM 利用者 ID	外部システムと NeoFace Monitor クラウド版の連携対象となる NFM 利用者 ID

12.4.4. NFM 利用者の入力値チェック

入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

入力値チェック

項目名	入力値	エラーメッセージ
NFM 利用者 ID	空	NFM 利用者 ID が入力されていません。
	257 文字以上	NFM 利用者 ID は 256 文字以内で入力してください。
	文字種	半角英数字、記号以外は使用できません。

12.4.5. NFM 利用者の削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

利用者情報連携フィルタ管理画面（削除の例：初期状態）

NeoFace Monitor管理ポータル ポータルドットコム タロウ

報連携フィルタ管理

インポート エクスポート +追加する

NFM利用者ID	登録日時
<input checked="" type="checkbox"/> test6-1d@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test6-1b@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc6_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc5_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc4@example.com	2023年12月22日 20:12

削除する

5件中1-5件

①対象行にチェックを入れる

② 削除するボタンを押下

確認用ダイアログにて「削除する」ボタンを押下すると、対象の行が削除されます。

利用者情報連携フィルタ管理画面（削除：確認ダイアログの表示）

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NeoFace Monitor管理ポータル ポータルドットコム タロウ

NFM利用者管理

ログビューア

設定

利用者情報連携管理

利用者情報連携フィルタ管理

利用者情報一括同期

インポート/エクスポート

ライセンスキー管理

接続許可IPアドレス

利用者情報連携フィルタ管理

インポート エクスポート +追加する

NFM利用者ID	登録日時
<input checked="" type="checkbox"/> test6-1d@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test6-1b@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc6_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc5_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/> test4_uc4@example.com	2023年12月22日 20:12

削除する

5件中1-5件

確認

選択された利用者情報連携フィルタを削除します。
※NFM利用者は削除されません。

キャンセル 削除する

12.4.6. NFM 利用者の一覧ファイルのインポート実行

NFM 利用者 ID の一覧ファイル（CSV ファイル）を使用してインポートを行います。NFM 利用者 ID の一覧ファイルの作成については「12.4.7. NFM 利用者 ID の一覧ファイルの作成」をご参照ください。

「インポート」ボタンを押下するとファイル選択ダイアログが表示されます。CSV ファイルをドロップエリアにドロップ、または「ファイルを選択」ボタンを押下して CSV ファイルを選択後、「インポートを開始する」ボタンを押下すると確認ダイアログが表示されます。「続行する」ボタンを押下するとインポートを開始します。処理の進行状況は処理状況ダイアログで表示されます。

利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：ファイル選択ダイアログの表示）

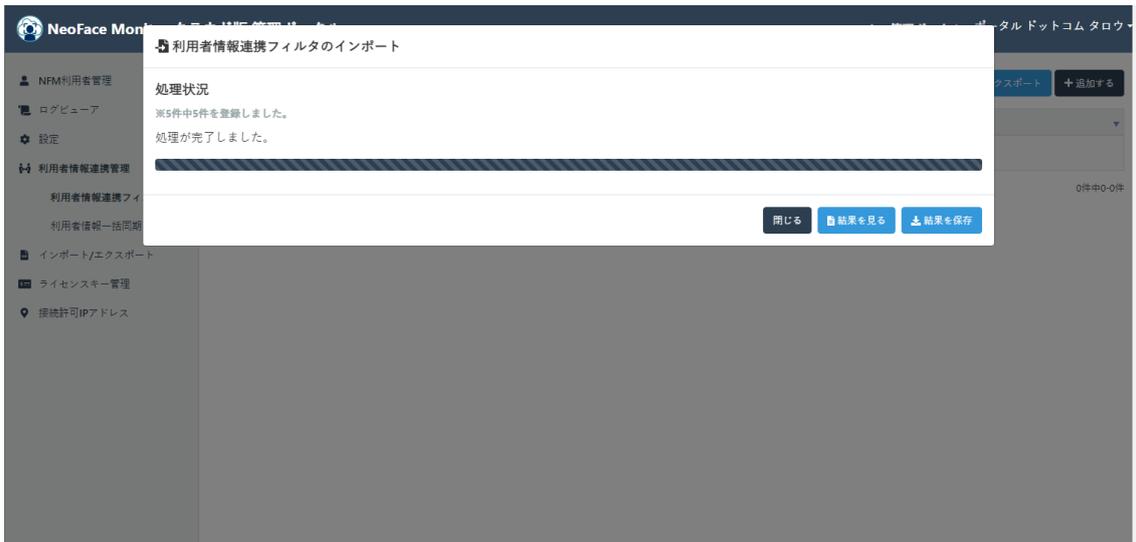


利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：確認ダイアログの表示）

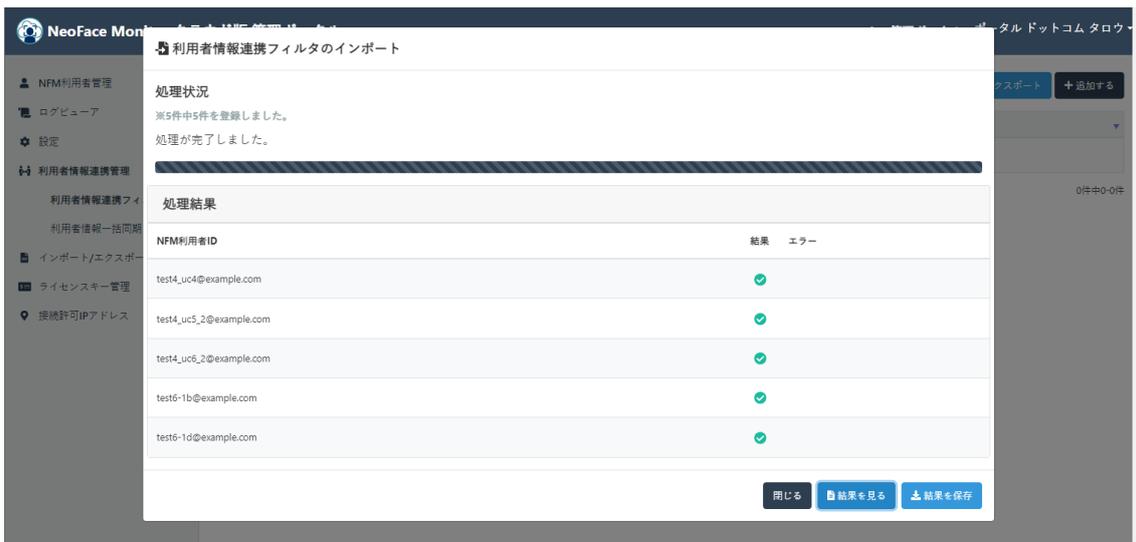


NFM 利用者 ID のインポートが完了すると処理結果が表示されます。「結果を見る」ボタンを押下すると結果の詳細が表示されます。

利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：実行結果ダイアログの表示）



利用者情報連携フィルタ管理画面（インポート：実行結果ダイアログの表示）



12.4.7. NFM 利用者の一覧ファイルの作成

NFM 利用者 ID の一覧ファイル（CSV ファイル）は以下の表に従って作成してください。

- ・ NFM 利用者 ID を新規登録する場合は、「新規登録時」の列を参照してください。
- ・ NFM 利用者 ID を削除する場合は、「削除時」の列を参照してください。

CSV ファイルの設定項目一覧

項目名	新規登録時	削除時
削除	削除の列に“”を記入してください。	NFM 利用者 ID を削除する場合のみ、“D”を記入してください。
NFM 利用者 ID	登録する NFM 利用者 ID を記入してください。	削除する NFM 利用者 ID を記入してください。

※NFM利用者IDの一覧ファイルの文字コードは、Shift_JISとUTF-8（BOM なし）をサポートしています。

12.4.8. NFM 利用者の一覧ファイルのエクспорт実行

「エクспорт」ボタンを押下すると、フィルタに登録されている NFM 利用者 ID の一覧ファイル（CSV ファイル）が出力されます。文字コードは UTF-8（BOM なし）となります。

利用者情報連携フィルタ管理画面（エクспорт）

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NeoFace Monitor管理ポータル ポータルドットコム タロウ

利用者情報連携フィルタ管理

インポート エクспорт +追加する

<input type="checkbox"/>	NFM利用者ID	登録日時
<input type="checkbox"/>	test6-1d@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/>	test6-1b@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/>	test4_uc6_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/>	test4_uc5_2@example.com	2023年12月22日 20:12
<input type="checkbox"/>	test4_uc4@example.com	2023年12月22日 20:12

削除する

5件中1-5件

12.4.9. 利用者情報一括同期の実施

「Bio-IDiom Services ID 連携」との連携の場合、利用者情報連携フィルタに登録されている NFM 利用者 ID を対象として、該当する利用者を NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者として同期を行います。

「同期を開始する」ボタンを押下すると処理を開始します。当該ボタンは、一度実行すると表示されなくなります。

利用者情報一括同期画面



利用者情報連携フィルタが1件も登録されていない場合、一括同期は実行できません。

利用者情報一括同期画面（実行不可）



処理中は実行状況が表示されます。「中止する」ボタンを押下すると中断します。
完了後に利用者情報一括同期の履歴が表示されます。

利用者情報一括同期画面（実行中）



利用者情報一括同期画面（完了）



「詳細」ボタンを押下すると実行履歴の詳細が表示されます。

利用者情報一括同期画面（実行履歴の詳細）

NFM利用者ID	開始日時	終了日時	処理種別	状態
TestUser_Add_20230531_1500_3001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_2001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_1001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_6501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_8501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_4001	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_1502	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_2501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功
TestUser_Add_20230531_1500_7501	2023年6月6日 20:19	2023年6月6日 20:19	追加	成功

※対象となる NFM 利用者 ID の件数によっては実行時間が長くなる場合があります。

NFM 利用者 ID 1 件あたりの実行時間の目安 : 1~3 秒

12.5. NeoFace Monitor クラウド版から外部システムへの連携

12.5.1. NeoFace Monitor クラウド版から「Bio-IDiom Services for SaaS」への連携

NeoFace Monitor クラウド版で、顔画像（表示画像）が登録されている利用者が、「Bio-IDiom Services for SaaS」の利用者（顔認証対象者）として連携される対象となります。

連携される項目

NeoFace Monitor クラウド版側の項目	「Bio-IDiom Services for SaaS」側の項目
NFM 利用者 ID（メールアドレス）	顔認証対象者 ID
NFM 利用者名（姓）	顔認証対象者（姓）
NFM 利用者名（ミドルネーム）	顔認証対象者（ミドルネーム）
NFM 利用者名（名）	顔認証対象者（名）
顔画像（表示画像）	顔画像
顔画像（学習画像）	顔画像

連携の対象になっている NFM 利用者の連携される項目の値を変更すると、対応する「Bio-IDiom Services for SaaS」の項目の値も連動して変更されます。

連携の対象になっている NFM 利用者の顔画像（表示画像、学習画像）を削除すると、対応する「Bio-IDiom Services for SaaS」の顔画像が共に削除されます。

操作のパターンと「Bio-IDiom Services for SaaS」側への連携有無

NeoFace Monitor クラウド版側の操作	「Bio-IDiom Services for SaaS」側への連携
NFM 利用者の登録（顔画像登録あり）	「Bio-IDiom Services for SaaS」に顔認証対象者が登録されます。
NFM 利用者の登録（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services for SaaS」の顔認証対象者に反映されます。
NFM 利用者の更新（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（登録されている顔画像を削除）	連携されません。
ライセンスキーの利用可能 ID 数超過による利用者顔画像の自動削除処理	連携されません。
NFM 利用者の削除（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services for SaaS」の顔認証対象者が削除されます。
NFM 利用者の削除（顔画像登録なし）	連携されません。

12.5.2. NeoFace Monitor クラウド版から「Bio-IDiom Services ID 連携」への連携

利用者情報一括同期が完了すると、NeoFace Monitor クラウド版で顔画像が登録されている NFM 利用者のうち、フィルタに登録されている NFM 利用者が、「Bio-IDiom Services ID 連携」の利用者（メンバー）として、以後自動で連携される対象となります。

連携される項目

NeoFace Monitor クラウド版側の項目	「Bio-IDiom Services ID 連携」側の項目
NFM 利用者 ID（メールアドレス）	メンバー情報のユーザ ID
NFM 利用者名（姓）	メンバープロパティの_BIO_firstName
NFM 利用者名（ミドルネーム）	メンバープロパティの_BIO_middleName
NFM 利用者名（名）	メンバープロパティの_BIO_lastName
顔画像（表示画像）	メンバー情報の生体情報（画像）

連携の対象になっている NFM 利用者の連携される項目の値を変更すると、対応する「Bio-IDiom Services ID 連携」の項目の値も連動して変更されます。

連携の対象になっている NFM 利用者の顔画像（表示画像）を削除すると、対応する「Bio-IDiom Services ID 連携」の顔認証対象者とその顔画像が共に削除されます。

操作のパターンと「Bio-IDiom Services ID 連携」側への連携有無

NeoFace Monitor クラウド版側の操作	「Bio-IDiom Services ID 連携」側への連携
NFM 利用者の登録（顔画像登録あり）	「Bio-IDiom Services ID 連携」のメンバーが登録されます。
NFM 利用者の登録（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services ID 連携」のメンバーに反映されます。
NFM 利用者の更新（顔画像登録なし）	連携されません。
NFM 利用者の更新（登録されている顔画像を削除）	連携されません。
ライセンスキーの利用可能 ID 数超過による利用者顔画像の自動削除処理	連携されません。

NFM 利用者の削除（顔画像登録あり）	該当する「Bio-IDiom Services ID 連携」のメンバーが削除されます。
NFM 利用者の削除（顔画像登録なし）	連携されません。

項目の制限一覧

項目名	制限
NFM 利用者 ID（メールアドレス）	NFM 利用者 ID（メールアドレス）は 45 文字以内で入力してください。

エラーコードと対処方法一覧

エラーコード	対処方法
IDMS-5012	サポート窓口にお問い合わせください。
BID-ERROR-400	NFM 利用者 ID（メールアドレス）は 45 文字以内で入力してください。
BID-ERROR-404	対応する Bio-IDiom Services ID 連携のメンバーが論理削除状態になっています。1 日程度経過してから再度更新を行ってください。

※上記にないエラーは、サポート窓口にお問い合わせください。

12.6. 外部システムから NeoFace Monitor クラウド版への連携

外部システムで顔画像が登録されている利用者のうち、NeoFace Monitor クラウド版で利用者情報連携フィルタに登録されている NFM 利用者 ID に該当する利用者が、NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者として、以後自動で連携される対象となります。

利用者情報連携フィルタの登録に関しては「12.2.3.1. NFM 利用者を利用者情報連携フィルタに登録」をご参照ください。

外部システムから NeoFace Monitor クラウド版への連携はタイマー実行で 15 分おきに実行されるので、情報の反映に 15 分程度時間がかかる場合があります。

12.6.1. 「Bio-IDiom Services for SaaS」から NeoFace Monitor クラウド版への連携

連携される項目

「Bio-IDiom Services for SaaS」側の項目	NeoFace Monitor クラウド版側の項目
顔認証対象者 ID	NFM 利用者 ID (メールアドレス)
顔認証対象者 (姓)	NFM 利用者名 (姓)
顔認証対象者 (ミドルネーム)	NFM 利用者名 (ミドルネーム)
顔認証対象者 (名)	NFM 利用者名 (名)
顔画像	顔画像 (表示画像)

連携の対象になっている顔認証対象者で項目の値を変更すると、対応する NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者の項目の値も連動して変更されます。

連携の対象になっている顔認証対象者で顔画像を削除すると、対応する NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者の対応する顔画像 (表示画像、学習画像) も連動して削除されます。

※ 「Bio-IDiom Services for SaaS」から顔認証対象者情報および顔画像が連携された場合、連携された時点では利用者 ID に該当する顔画像が NFM 利用者一覧および顔情報詳細に反映されません。

クライアントソフトから顔認証を実行した時点で顔画像が反映されます。

※ 「Bio-IDiom Services for SaaS」では顔認証対象者 ID の登録が必要です。連携ができなくなるため、顔認証対象者 ID は変更しないでください。また、256 文字以内で登録してください。

※ 「Bio-IDiom Services for SaaS」から NeoFace Monitor クラウド版に顔画像を連携する際は、最も古い画像が登録されます。

12.6.2. 「Bio-IDiom Services ID 連携」から NeoFace Monitor クラウド版への連携

連携される項目

「Bio-IDiom Services ID 連携」側の項目	NeoFace Monitor クラウド版側の項目
メンバー情報のユーザ ID	NFM 利用者 ID (メールアドレス)
メンバープロパティの_BIO_firstName	NFM 利用者名 (姓)
メンバープロパティの_BIO_middleName	NFM 利用者名 (ミドルネーム)
メンバープロパティの_BIO_lastName	NFM 利用者名 (名)
メンバー情報の生体情報 (画像)	顔画像 (表示画像)

連携の対象になっているメンバーで項目の値を変更すると、対応する NeoFace Monitor クラウド版の NFM 利用者の項目の値も連動して変更されます。

※ 「Bio-IDiom Services ID 連携」からメンバー情報および生体情報 (画像) が連携された場合、連携された時点では利用者 ID に該当する顔画像が NFM 利用者一覧および顔情報詳細に反映されません。

クライアントソフトから顔認証を実行した時点で顔画像が反映されます。

13. 接続許可 IP アドレス

本章では、システム管理者用・グループ管理者用の機能へアクセスできる IP アドレスを制限する機能について説明します。

13.1 接続許可 IP アドレスの表示

メニューエリアから「接続許可 IP アドレス」を押下し、接続許可 IP アドレス一覧画面を表示します。

接続許可 IP アドレス一覧画面



項目レイアウト

項目名	説明
現在接続中の IP アドレス	現在接続している IP アドレスです。
接続許可 IP アドレス一覧	検索結果の一覧です。
検索結果行数	検索結果の行数です。
ページング	一覧の表示しているページを切替えます。

13.2 接続許可 IP アドレスの一覧項目

接続許可 IP アドレス一覧の各項目について説明します。

接続許可 IP アドレス一覧画面

一覧表示の項目

項目名	説明
選択チェックボックス	接続許可 IP アドレスを削除する際の対象を選択します。
開始 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の開始アドレスです。
終了 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の終了アドレスです。

13.3 接続許可 IP アドレスの登録

接続許可 IP アドレスの登録を行います。
最初の状態では、接続許可 IP アドレスは登録されていません。接続を許可する IP アドレスを追加してください。

画面の「追加する」ボタンを押下してください。

接続許可 IP アドレス一覧画面（初期状態の例）

The screenshot displays the 'NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル' (NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal) interface. The main content area is titled '接続許可IPアドレス' (Allowed IP Addresses). Below the title, there is a descriptive text: '接続許可IPアドレスを登録することで、システム管理者用管理ポータル画面が表示可能な端末を限定することができます。' (By registering allowed IP addresses, you can limit the terminals that can display the system administrator management portal screen). Below this, there is a section for '現在接続中のIPアドレス' (IP addresses currently connected), which is currently empty and shows a message '該当するレコードが見つかりません' (No records found). To the right of this section is a '+ 追加する' (Add) button. At the bottom left of the table area is a '削除する' (Delete) button. The bottom right corner of the table area shows '0件中0-0件' (0 items, 0-0 items). The left sidebar contains navigation options: 'NFM利用者管理', 'ログビューア', '設定', '利用者情報連携管理', 'インポート/エクスポート', 'ライセンスキー管理', and '接続許可IPアドレス' (which is currently selected).

13.4 接続許可 IP アドレスの新規登録

接続許可 IP アドレスの追加画面が表示されます。
必要な項目を入力し、「保存する」ボタンを押下してください。

接続許可 IP アドレス一覧画面（新規登録の例）

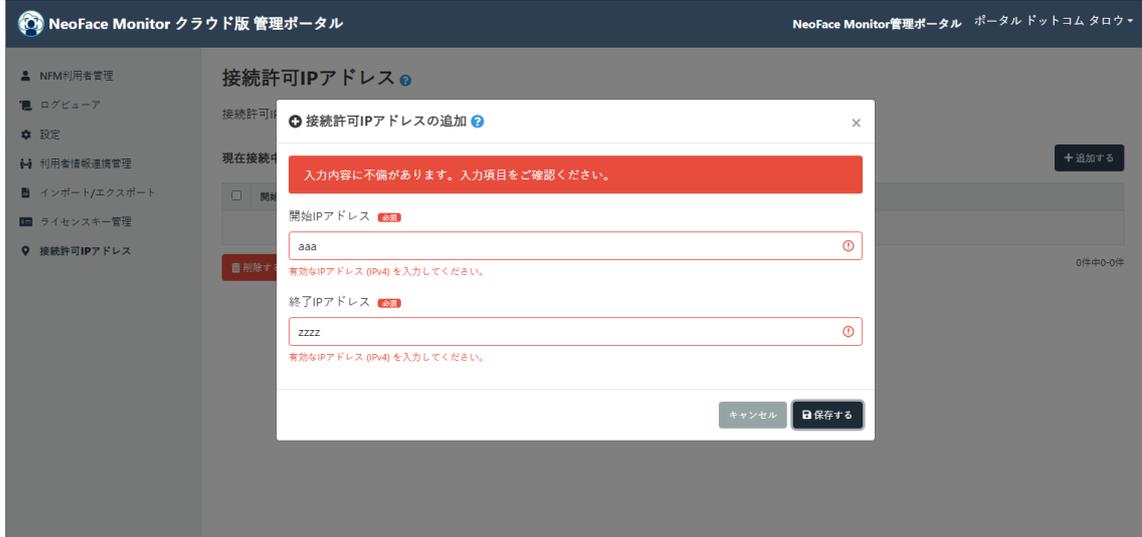


接続許可 IP アドレス情報

項目名	説明
開始 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の開始アドレス
終了 IP アドレス	接続を許可する IP アドレスの範囲の終了アドレス

入力にエラーがあるとメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認のうえ入力内容を修正し、「保存する」ボタンを押下してください。

接続許可 IP アドレス一覧画面（エラーの例）



各項目について入力のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	説明
開始 IP アドレス	空	開始 IP アドレスが入力されていません。
	IP アドレス (IPv4) の形式以外	有効な IP アドレス (IPv4) を入力してください。
終了 IP アドレス	空	終了 IP アドレスが入力されていません。
	IP アドレス (IPv4) の形式以外	有効な IP アドレス (IPv4) を入力してください。

※接続許可 IP アドレスが1件以上登録されると接続許可 IP アドレスのチェックが行われ、登録されていない範囲の IP アドレスは接続が制限されます。

保存しようとしている設定により、現在接続中の IP アドレスが接続制限の対象となる場合は確認メッセージが表示されます。
登録後、現在接続中の IP アドレスからのアクセスが制限されますのでご注意ください。

万が一登録ミス等で、システム管理者の使用する IP アドレスが接続制限の対象となり、システム管理者として操作ができなくなった場合は、サポート窓口までお問い合わせいただければ弊社側でリセットを行うことが可能です。

接続許可 IP アドレス登録時の確認メッセージ

The screenshot shows the 'NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル' interface. The main content area is titled '接続許可IPアドレス' and contains a confirmation dialog box. The dialog box asks: '登録すると現在接続中のIPアドレスから接続できなくなります。登録しますか?' (When registered, you will not be able to connect from the currently connected IP address. Do you want to register?). Below this, there is a checkbox labeled '現在接続中のIPアドレスからアクセスできない設定に変更しようとしています' (I want to change the setting so that I cannot access from the currently connected IP address). The dialog has 'キャンセル' (Cancel) and '保存する' (Save) buttons. Two callout boxes provide instructions: '①チェックを入れる' (Check the checkbox) and '②保存するボタンを押下' (Click the Save button).

13.5 接続許可 IP アドレスの削除

削除したい行にチェックを入れて「削除する」ボタンを押下します。

接続許可 IP アドレス一覧画面（削除の例：初期状態）

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

接続許可IPアドレス

接続許可IPアドレスを登録することで、システム管理者用管理ポータル画面が表示可能な端末を限定することができます。

現在接続中のIPアドレス： [] + 追加する

開始IPアドレス	終了IPアドレス
<input type="checkbox"/> 1.1.1.1	2.2.2.2

1件中1-1件

①対象行にチェックを入れる

②削除するボタンを押下

接続許可 IP アドレス一覧画面（削除：確認ダイアログの表示）

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

接続許可IPアドレス

接続許可IPアドレスを登録することで、システム管理者用管理ポータル画面が表示可能な端末を限定することができます。

現在接続中のIPアドレス： [] + 追加する

開始IPアドレス	終了IPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/> 1.1.1.1	

1件中1-1件

③確認用のダイアログが表示されます。

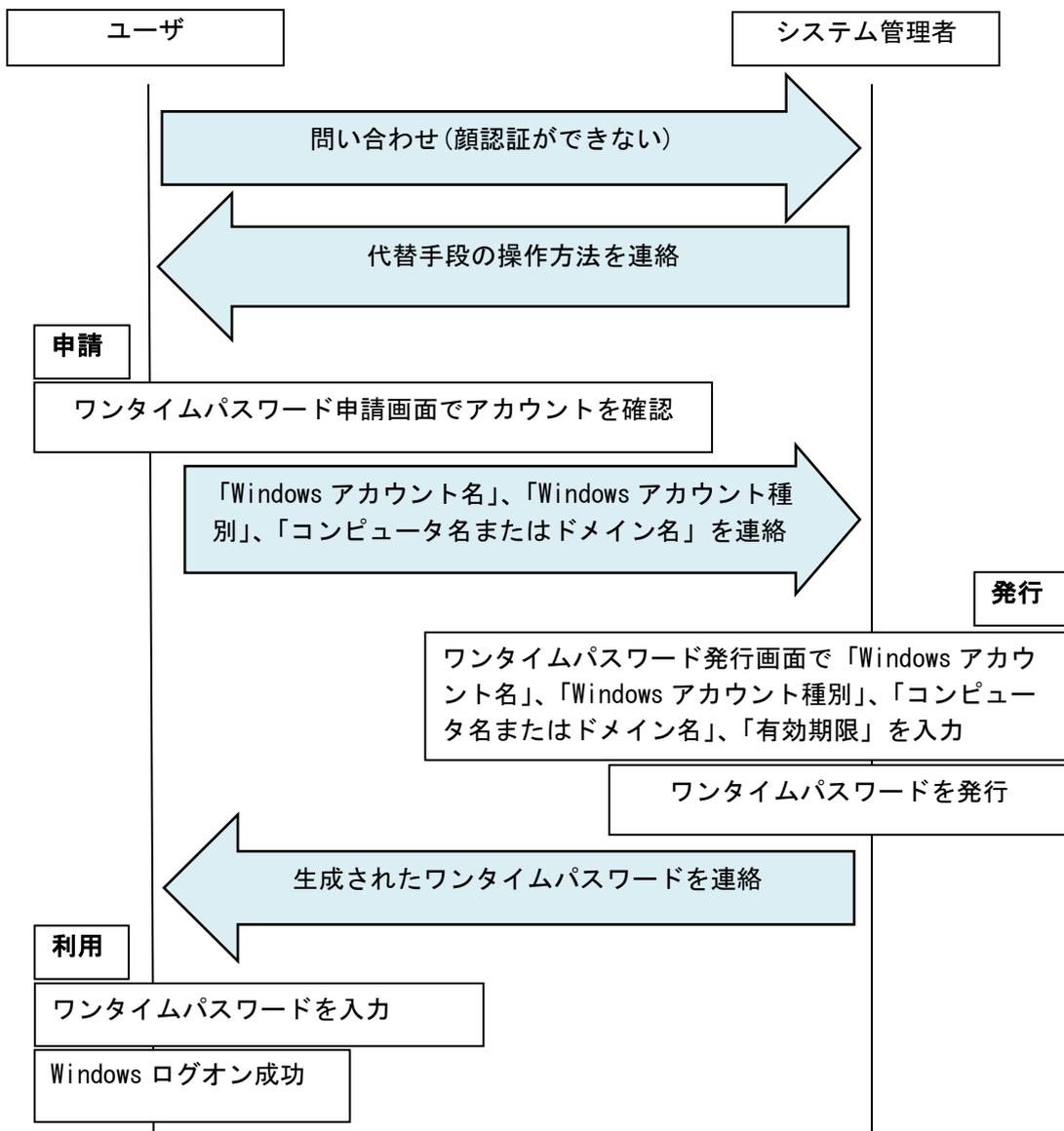
④削除するボタンを押下

14. ワンタイムパスワードの利用

本章では、代替認証としてワンタイムパスワードを申請/発行から利用するまでの手順を説明します。

14.1 ワンタイムパスワード利用の流れ

ワンタイムパスワードを発行する前に、Windows ログオン認証ポリシー画面で設定を行う必要があります。詳細は「9.2.1. ワンタイムパスワードの使用可否設定」をご参照ください。



※Windows アカウントにパスワードを設定していない場合は、ワンタイムパスワードが使用できません。必ずパスワードを設定してください。

14.2 ワンタイムパスワードの申請手順

ワンタイムパスワード申請画面でアカウントを確認します。ワンタイムパスワード申請画面の詳細は、『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「7.4. 代替認証」手順1～手順4をご参照ください。

14.3 ワンタイムパスワードの発行手順

ワンタイムパスワードの発行を行います。
最初の状態では、ワンタイムパスワードは発行されていません。必要な項目を入力し、画面の「発行する」ボタンを押下してください。

ワンタイムパスワード発行画面（初期状態の例）

ワンタイムパスワードの入力項目

項目名	説明
Windows アカウント名	ワンタイムパスワード発行対象の Windows アカウント名
Windows アカウント種別	ワンタイムパスワード発行対象の Windows アカウント種別
コンピュータ名	ワンタイムパスワード発行対象のコンピュータ名
有効期限	ワンタイムパスワードの有効期限

入力にエラーがあるとメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認のうえ入力内容を修正し、「発行する」ボタンを押下してください。

ワンタイムパスワード発行画面（エラーの例）

各項目について入力のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	説明
Windows アカウント名	空	Windows アカウント名は必須です。
※Windows アカウント種別で「ローカル」または「ドメイン」を選択した場合	21 文字以上	Windows アカウント名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	Windows アカウント名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
表示名	空	表示名は必須です。
※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	21 文字以上	表示名は 20 文字以内で入力してください。
	文字種	表示名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 "/ ¥ [] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ

14. ワンタイムパスワードの利用

コンピュータ名 ※Windows アカウント種別で「ローカル」を選択した場合	空	コンピュータ名は必須です。
	16 文字以上	コンピュータ名は 15 文字以内で入力してください。
	文字種	コンピュータ名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 "/ ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
ドメイン名 ※Windows アカウント種別で「ドメイン」を選択した場合	空	ドメイン名は必須です。
	255 文字以上	ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 "/ ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
Azure AD ドメイン名 ※Windows アカウント種別で「Azure AD」を選択した場合	空	Azure AD ドメイン名は必須です。
	256 文字以上	Azure AD ドメイン名は 255 文字以内で入力してください。
	文字種	Azure AD ドメイン名は半角英数字、記号しか利用できません。 ※半角英数字、記号以外（以下を除く）は使用できません。 "/ ¥[] : ; = , + * ? < > @ 半角スペースのみ
有効期限（自由入力）	空	コンピュータ名は必須です。
	1~999 までの整数値以外	有効期限は 1~999 までの整数値を指定してください。

Windows アカウント情報の存在チェック

項目名	エラーメッセージ
Windows アカウント名または表示名	指定したアカウント情報が見つかりませんでした。
コンピュータ名またはドメイン名または Azure AD ドメイン名	

ワンタイムパスワードが発行されると、ワンタイムパスワードが表示されます。

ワンタイムパスワード発行画面（発行されたワンタイムパスワード例）

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NeoFace Monitor管理ポータル ポータル ドットコム タロウ

NFM利用者管理
ログビューア
設定
利用者情報連携管理
インポート/エクスポート
ライセンスキー管理
ワンタイムパスワード発行
接続許可IPアドレス

ワンタイムパスワード発行

Windowsアカウント名 必須
test1

Windowsアカウント種別 必須
 ローカル ドメイン Azure AD

ドメイン名 必須
test1

有効期限 必須
 1日
 自由入力 日

ワンタイムパスワード
3347548723142

「クリップボードにコピーする」ボタンを押下すると、クリップボードにワンタイムパスワードがコピーされます。

「入力内容をリセットする」ボタンを押下すると、発行されたワンタイムパスワードが無効になります。

14.4 ワンタイムパスワード利用手順

ワンタイムパスワード入力画面で、管理者より発行されたワンタイムパスワードを入力してください。正しいワンタイムパスワードが入力されていれば、Windows ログオンが成功します。

ワンタイムパスワード入力画面の詳細は、『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「7.4. 代替認証」手順1～手順4をご参照ください。

※ クライアント端末がオフラインでも、ワンタイムパスワードの利用は可能です。

Appendix A. ライセンスキーの登録

本章では、購入したライセンスキーの登録手順について説明します。

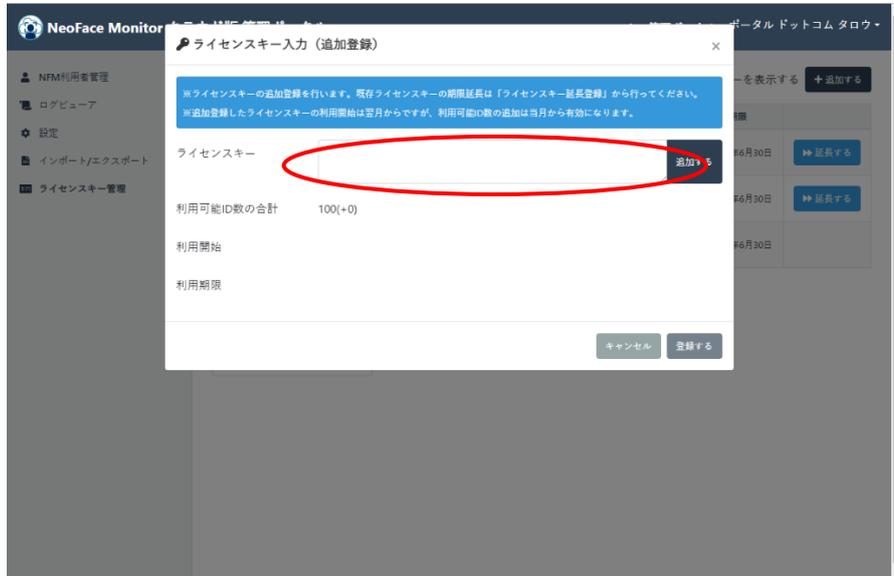
1. ライセンスキーを準備します。
2. システム管理者で管理ポータルにログインします。

3. メニューエリアから「ライセンスキー管理」を押下し、ライセンスキー管理画面を表示します。
画面の詳細については「10.2. ライセンスキー一覧」をご覧ください。

型番	製品名	利用可能ID数	利用開始	利用期限	
UWH01Y-H0096-I	NeoFace Monitor クラウド版 (100名12ヶ月利用権)	100	2023年7月1日	2024年6月30日	延長する
UWH01Y-H0095-I	NeoFace Monitor クラウド版 (10名12ヶ月利用権)	10	2023年7月1日	2024年6月30日	延長する
	NeoFace Monitor クラウド版 (単機利用)		2023年5月1日	2023年6月30日	

利用可能ID数の合計 100
現在利用中のID数 0
残ID数 100

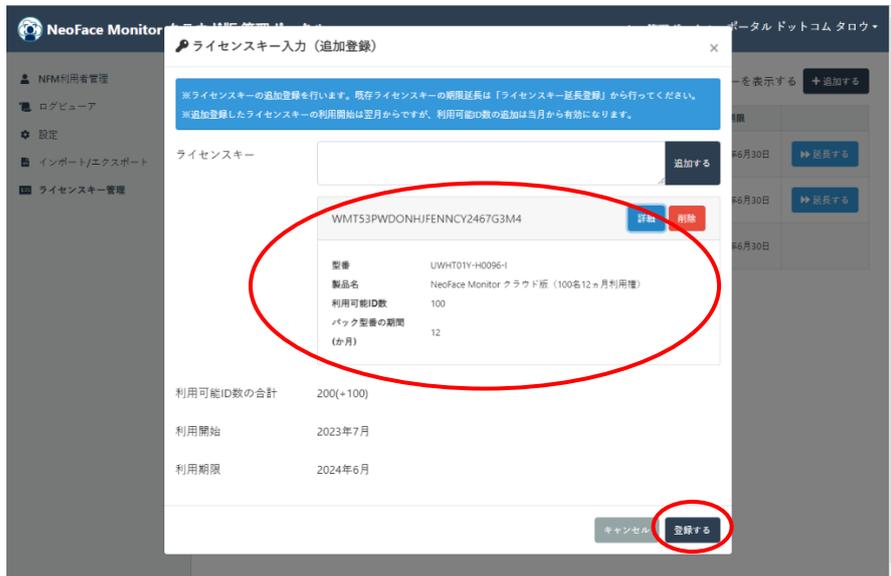
4. ライセンスキー管理画面から「追加する」ボタンを押下し、ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログを表示します。
画面の詳細については「10.3. ライセンスキー入力（追加登録）」をご覧ください。



5. ライセンスキー入力（追加登録）ダイアログから、購入したライセンスキーを入力し、「追加する」ボタンを押下してください。



6. 追加入力したライセンスキーの情報がダイアログ上に表示されるので、「詳細ボタン」を押下してご確認後、間違いがなければ「登録する」ボタンを押下してください。



7. ライセンスキーの登録確認メッセージが表示されるので、「登録する」ボタンを押下してください。



8. ライセンスキー管理画面のライセンスキー一覧に、登録したライセンスが表示されていれば、登録完了です。

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NeoFace Monitor 管理ポータル ポータル ドットコム タロウ

ライセンスキー管理

期限切れライセンスキーを表示する [+](#) 追加する

型番	製品名	利用可能ID数	利用開始	利用期限	
UWH-T01Y-H0096-I	NeoFace Monitor クラウド版 (100名12ヵ月利用権)	100	2023年7月1日	2024年6月30日	▶▶ 延長する
UWH-T01Y-H0095-I	NeoFace Monitor クラウド版 (10名12ヵ月利用権)	10	2023年7月1日	2024年6月30日	▶▶ 延長する
UWH-T01Y-H0096-I	NeoFace Monitor クラウド版 (100名12ヵ月利用権)	100	2023年7月1日	2024年6月30日	▶▶ 延長する
	NeoFace Monitor クラウド版 (無償利用)		2023年5月1日	2023年6月30日	

利用可能ID数の合計 100
現在利用中のID数 0
残ID数 100

※無償利用期間中にライセンスキーの登録を行った場合、無償利用期間が終了するまでライセンスキー一覧の利用可能 ID 数の合計の値に反映されません。